

琴聲之錄

四

^ 13  
3024  
4



琴きん聲せい美び人じん錄ろく

編へん十じゅう上じやうのの卷まき

明 へ 13  
3024  
巻 4

昭和九年  
七月二十五日  
購求

琴聲

美人錄

上卷

柳亭作

梅峰樓画



泉 志太 梓

自叙

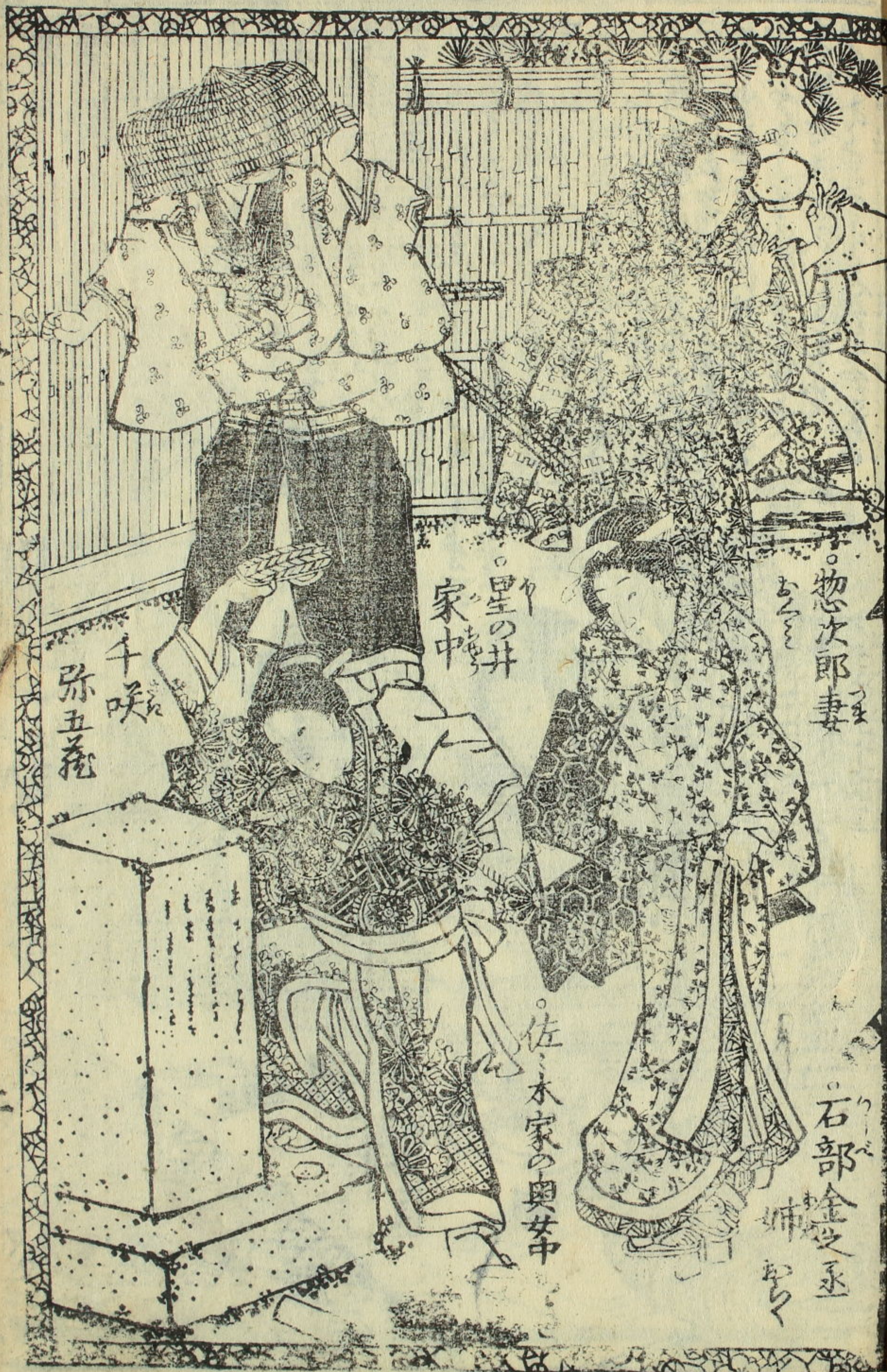
羅母貝中水 源氏物語を伝へて三代嘯子と生たりと續文献通考  
 此系式部 源氏物語を伝へて地獄へ墮するより康頼が宝物集  
 此の京山稚子の如草子ふありきる空言と伝へて五十余年  
 此罪水滸源氏より甚し 嘯子の産されども身後の地獄にい  
 ありやと一大徳ふたねけし一一首の哥を示せり

嘉永六年

丑仲春稿本  
 同七年寅新板

山東菴京山





千咲  
弥五郎

星の井  
家中

佐木家の奥平

惣次郎妻

石部金之丞  
姉



惣次郎  
鶴亀屋

九郎

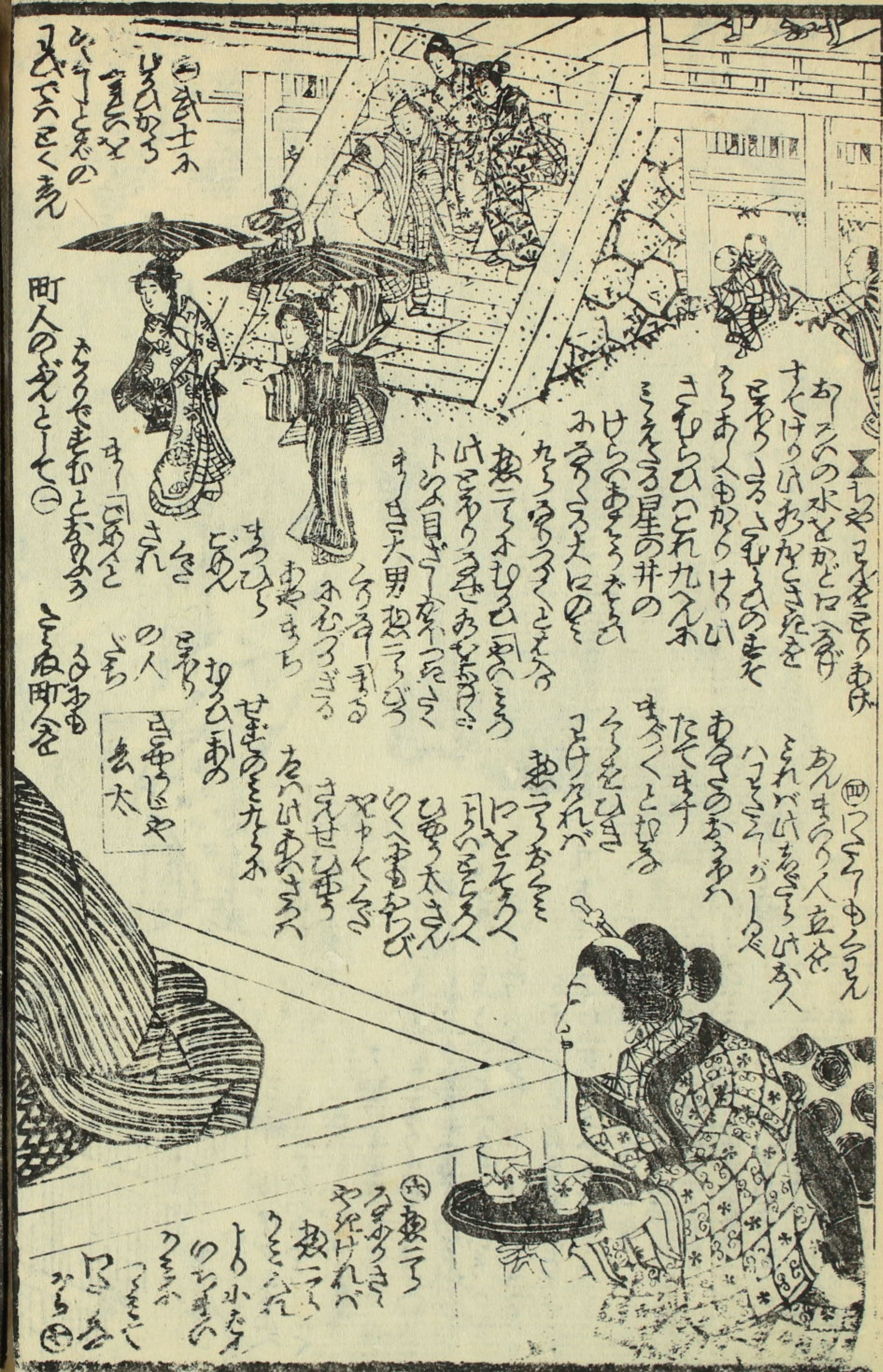
兵太  
經師屋

星の井家中  
石部金之丞

盗賊  
九郎







武士の  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい

町人の  
あつちい  
あつちい  
あつちい

あつちい  
あつちい  
あつちい

あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい

あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい



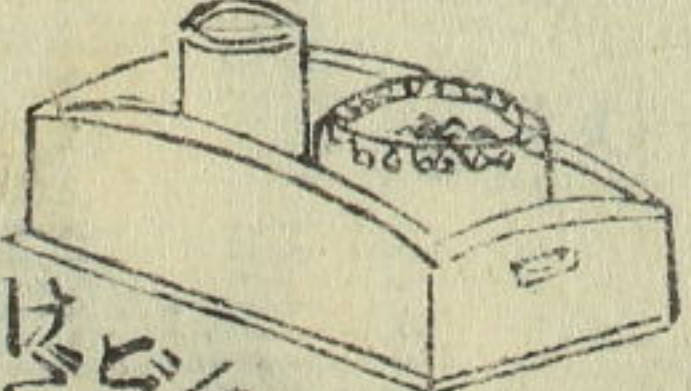
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい

あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい

あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい

あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい

大目丸

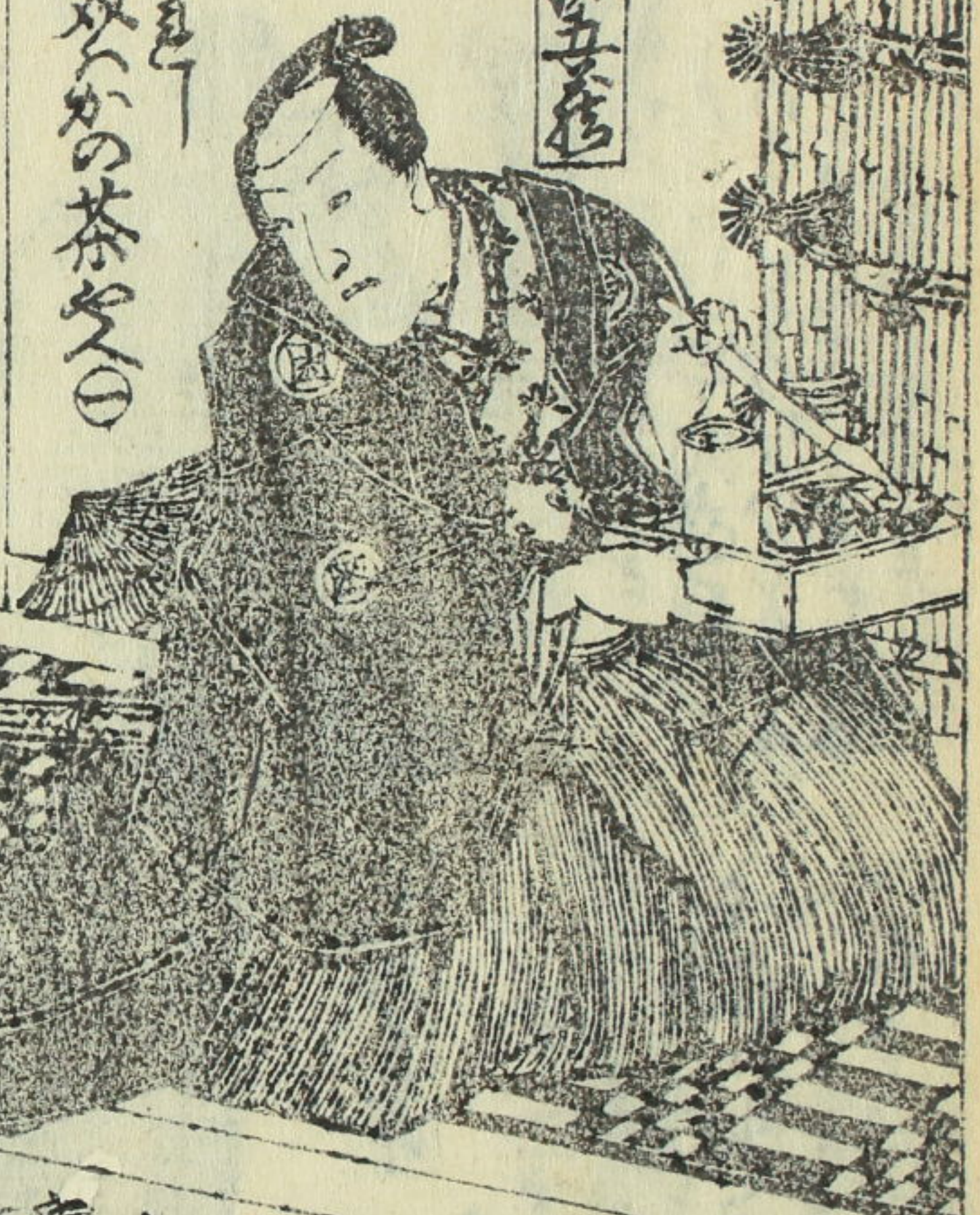


あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい  
あつちい



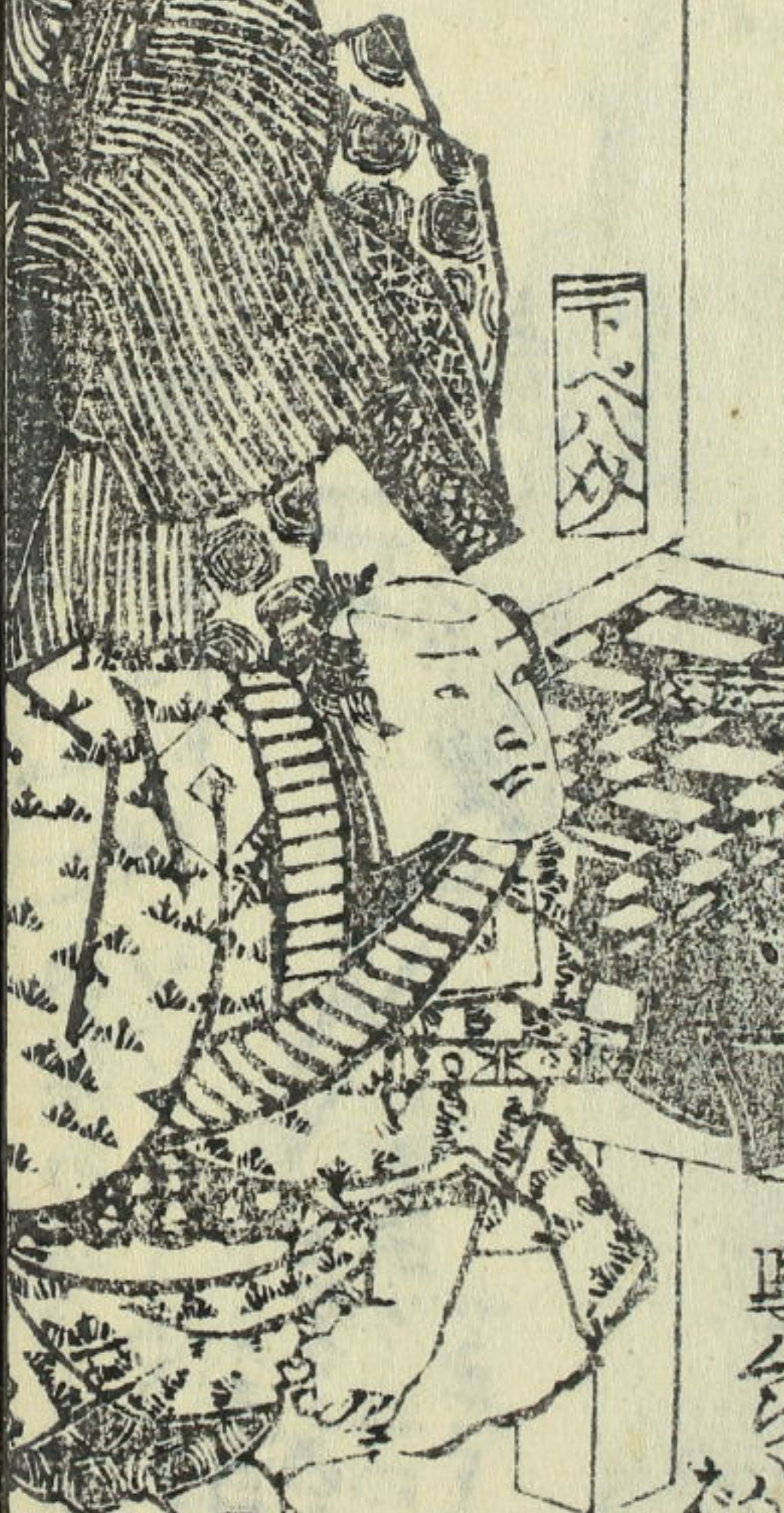


千咲弥彦  
十あふちとひやれ  
かたまりのしんせんとせろ  
のそらひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
よあつたひんせんとせろ



あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ

あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ

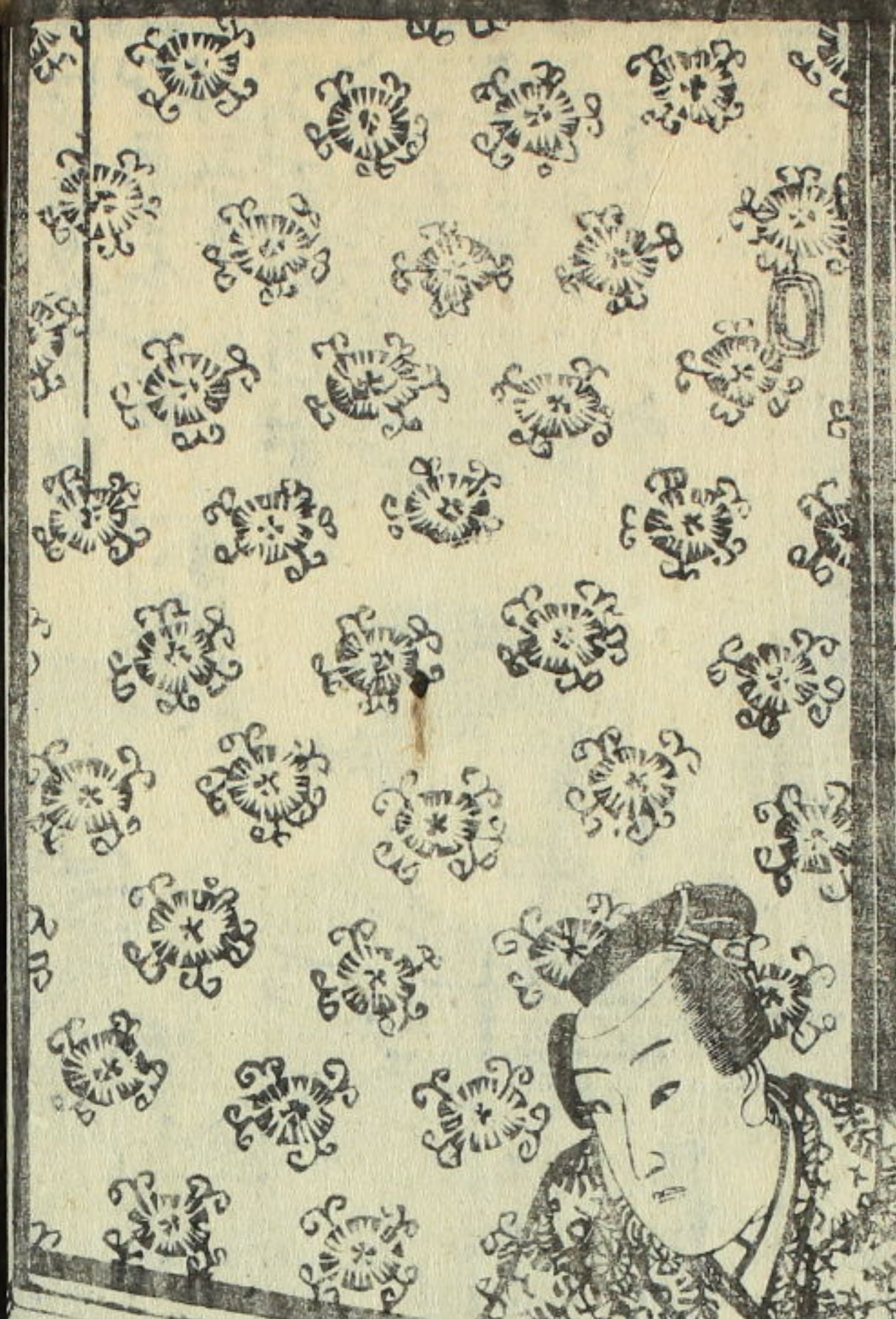
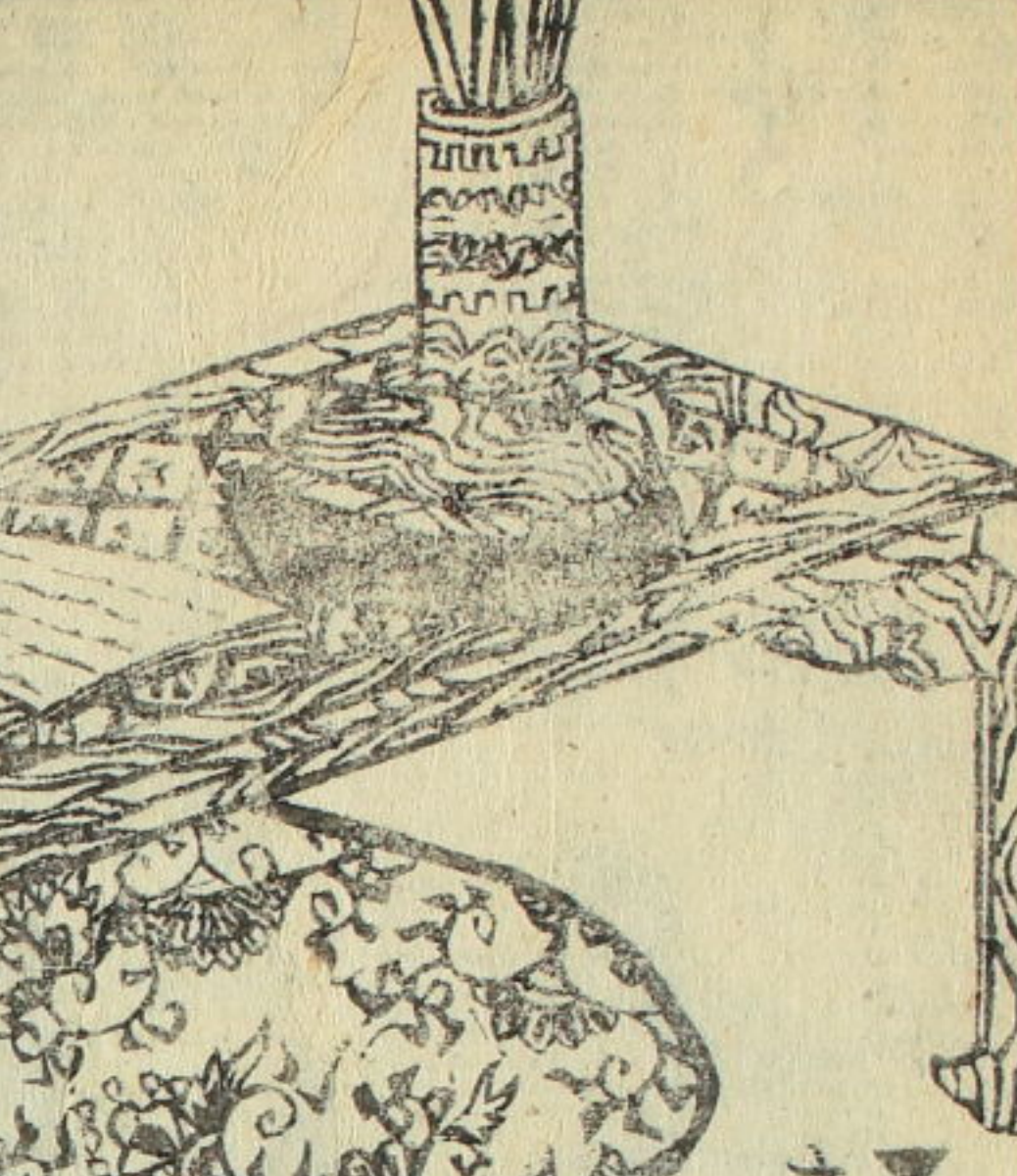


あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ

あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ



あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ  
あつたひんせんとせろ

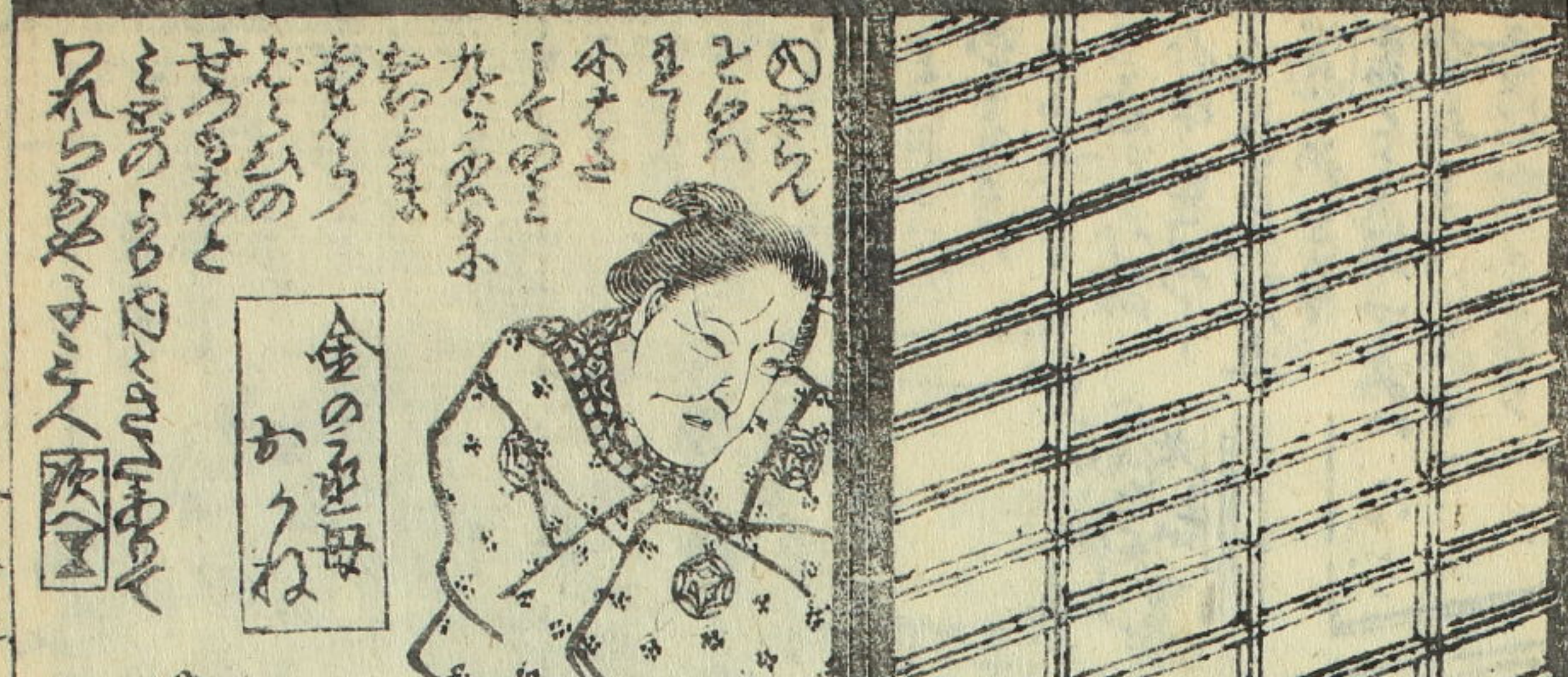


石部金の巻

① 蘇五... のこと  
ハハを... のこと  
金の... のこと  
名... 大夫 ①

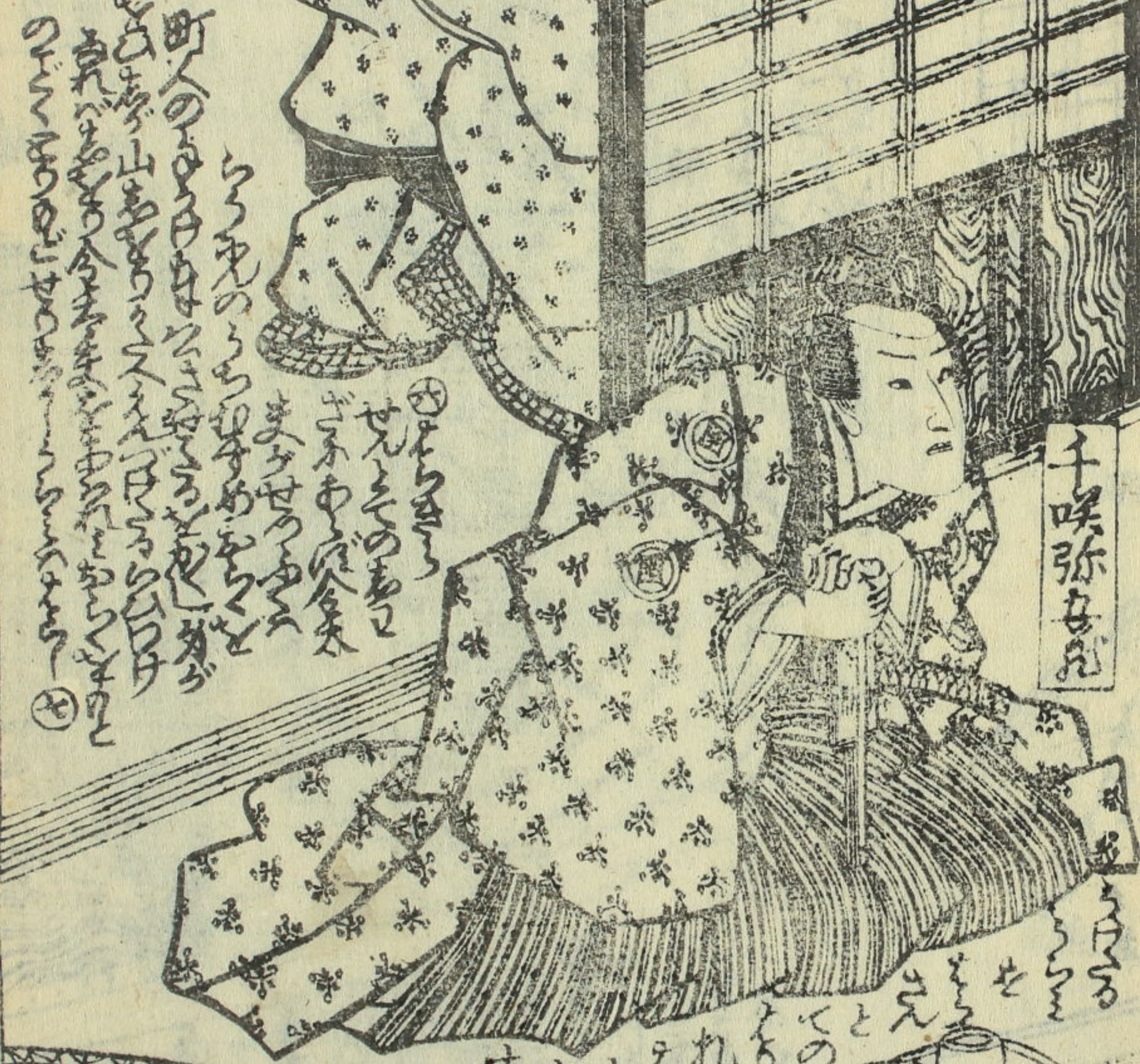
② 山... のこと  
井... のこと  
石部... のこと  
石部... のこと  
石部... のこと

③... のこと  
④... のこと  
⑤... のこと  
⑥... のこと  
⑦... のこと  
⑧... のこと  
⑨... のこと  
⑩... のこと  
⑪... のこと  
⑫... のこと  
⑬... のこと  
⑭... のこと  
⑮... のこと  
⑯... のこと  
⑰... のこと  
⑱... のこと  
⑲... のこと  
⑳... のこと



金の母

①... のこと  
②... のこと  
③... のこと  
④... のこと  
⑤... のこと  
⑥... のこと  
⑦... のこと  
⑧... のこと  
⑨... のこと  
⑩... のこと



千咲弥母



①... のこと  
②... のこと  
③... のこと  
④... のこと  
⑤... のこと  
⑥... のこと  
⑦... のこと  
⑧... のこと  
⑨... のこと  
⑩... のこと  
⑪... のこと  
⑫... のこと  
⑬... のこと  
⑭... のこと  
⑮... のこと  
⑯... のこと  
⑰... のこと  
⑱... のこと  
⑲... のこと  
⑳... のこと  
㉑... のこと  
㉒... のこと  
㉓... のこと  
㉔... のこと  
㉕... のこと  
㉖... のこと  
㉗... のこと  
㉘... のこと  
㉙... のこと  
㉚... のこと  
㉛... のこと  
㉜... のこと  
㉝... のこと  
㉞... のこと  
㉟... のこと  
㊱... のこと  
㊲... のこと  
㊳... のこと  
㊴... のこと  
㊵... のこと  
㊶... のこと  
㊷... のこと  
㊸... のこと  
㊹... のこと  
㊺... のこと  
㊻... のこと  
㊼... のこと  
㊽... のこと  
㊾... のこと  
㊿... のこと





①用て美衣 十三味

美衣のひと水良粉すも  
一袋百二十廿九才  
白く白くわつた  
心まのつたのあれ  
おもしろくをを

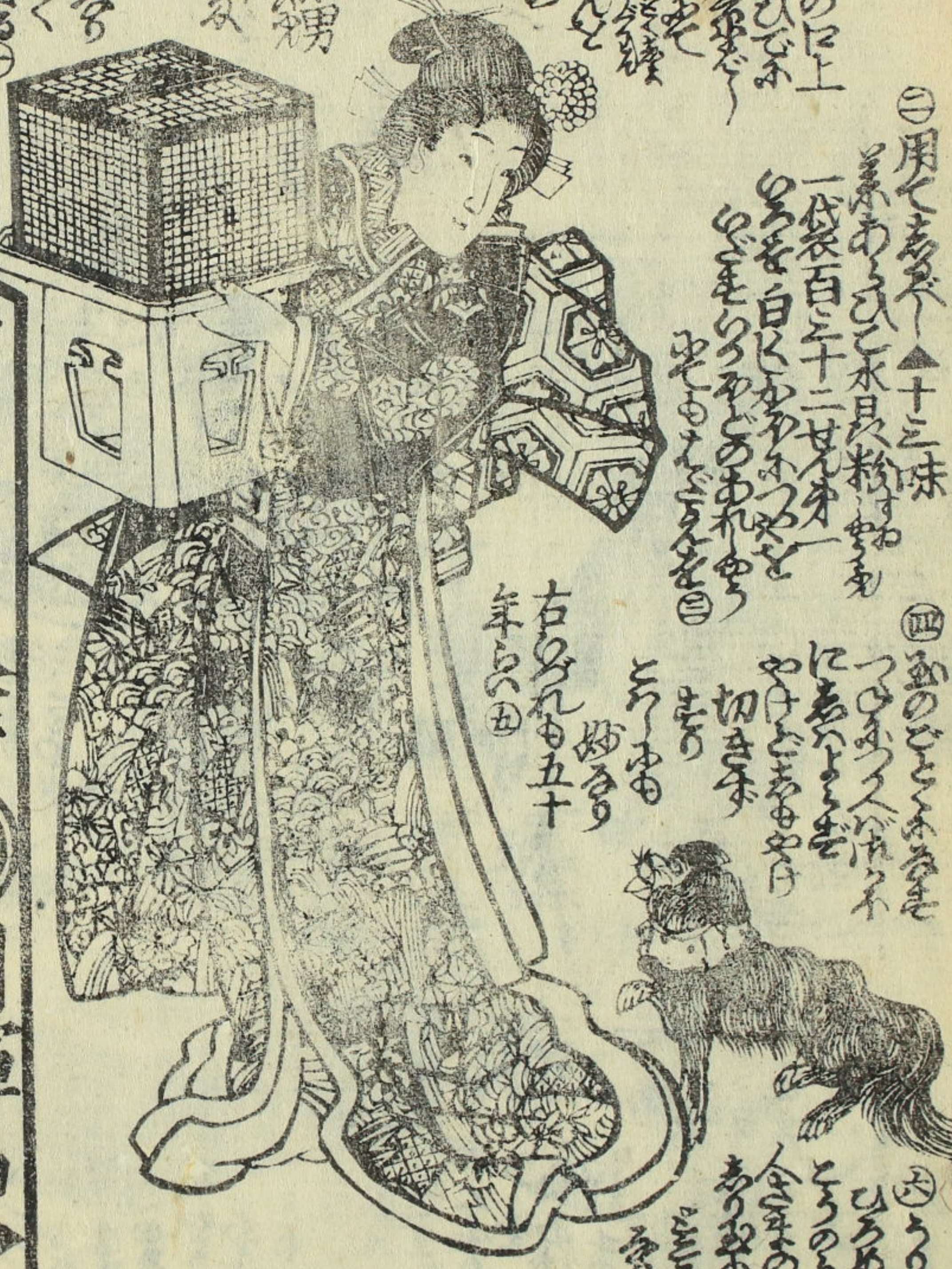
④箱のひとをを

つひあふ入流  
にあらま  
おけとあ  
切ま  
まの  
ちう  
妙  
古のれも五十  
年六五

⑤うり  
ひろ  
ころ  
金  
あり  
さ  
さ

△せんごうのうたきしん  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の  
△これのうたきしん吉原の

美人録十編卷上終  
京山老人作 國輝画



琴声美人録十編下卷

これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の

正三聖  
二五七



これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の  
これのうたきしん吉原の

①うらなひ

②心のあな  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ  
あまのこ

六段

六段









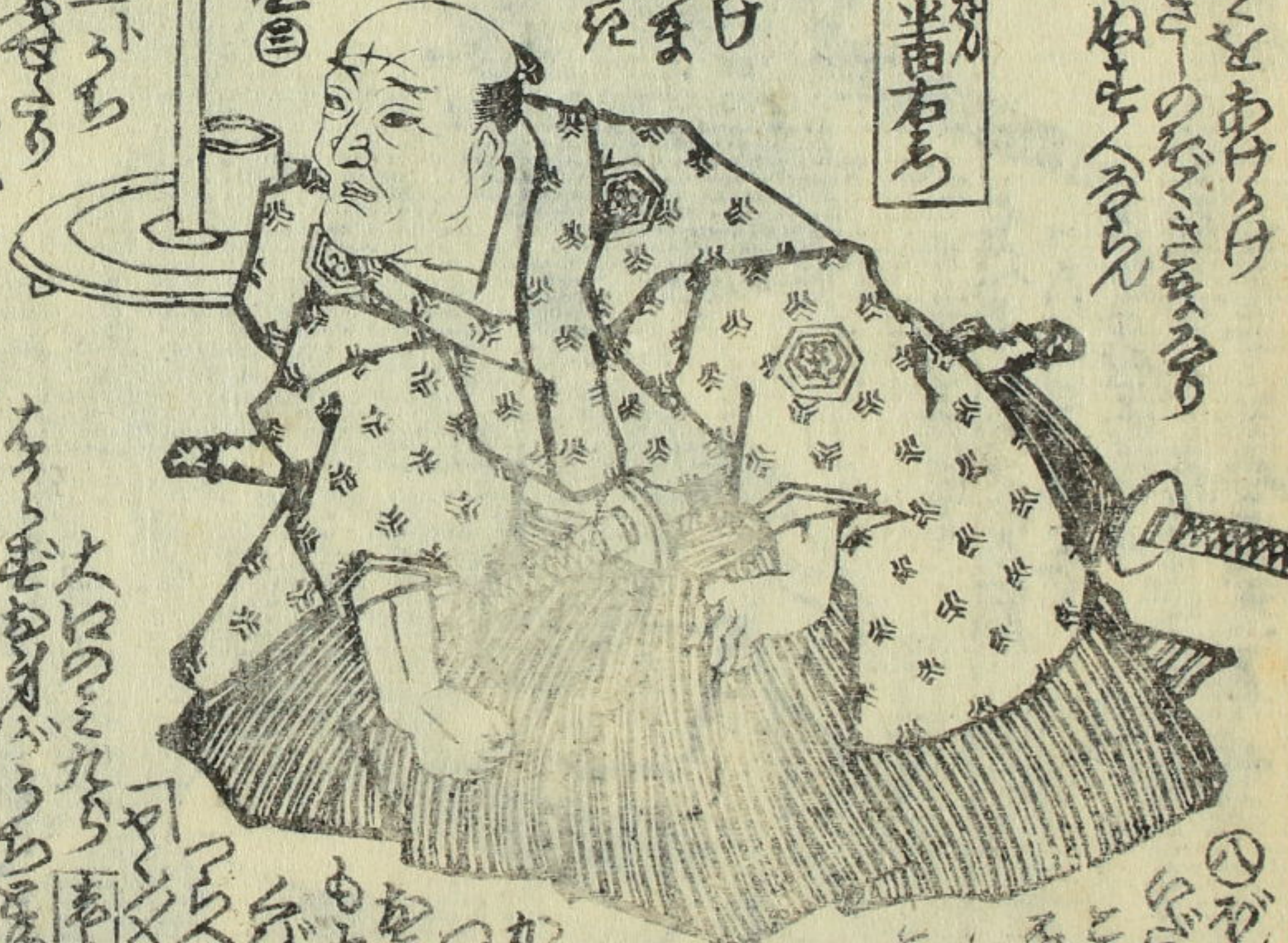




① ちやうどさういふものゝや  
 さられりや。今この世の世に  
 うけおちりまはるるト云ふ  
 の内九ツの夜ありと  
 きくやうくまをさうち  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま

② ちやうどさういふものゝや  
 さられりや。今この世の世に  
 うけおちりまはるるト云ふ  
 の内九ツの夜ありと  
 きくやうくまをさうち  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま

③ ちやうどさういふものゝや  
 さられりや。今この世の世に  
 うけおちりまはるるト云ふ  
 の内九ツの夜ありと  
 きくやうくまをさうち  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま



④ ちやうどさういふものゝや  
 さられりや。今この世の世に  
 うけおちりまはるるト云ふ  
 の内九ツの夜ありと  
 きくやうくまをさうち  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま



⑤ ちやうどさういふものゝや  
 さられりや。今この世の世に  
 うけおちりまはるるト云ふ  
 の内九ツの夜ありと  
 きくやうくまをさうち  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま  
 金の重なるの決のま  
 ちけりまをさうちま

十一段

十二段

美人御

十一

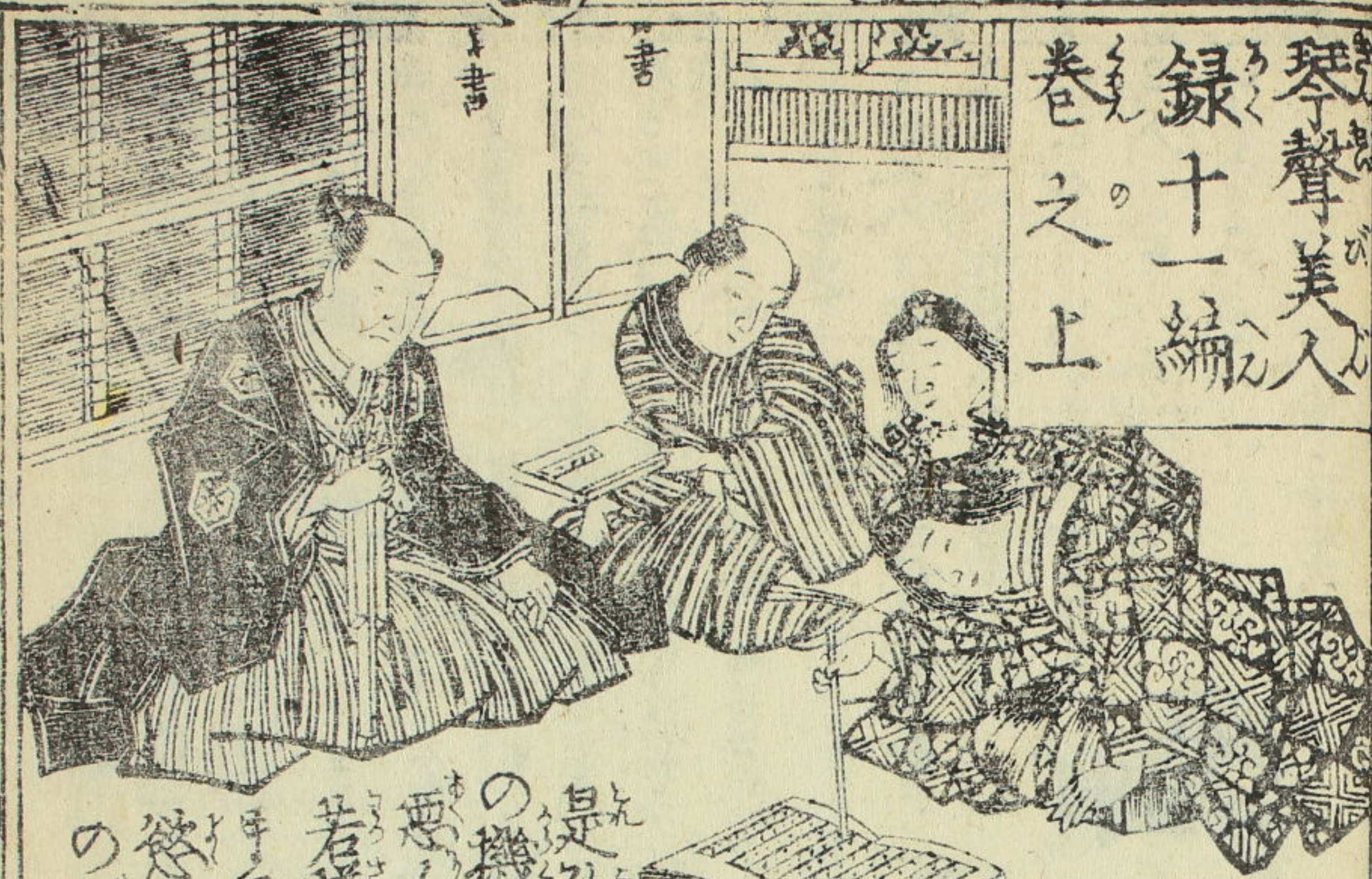
十二







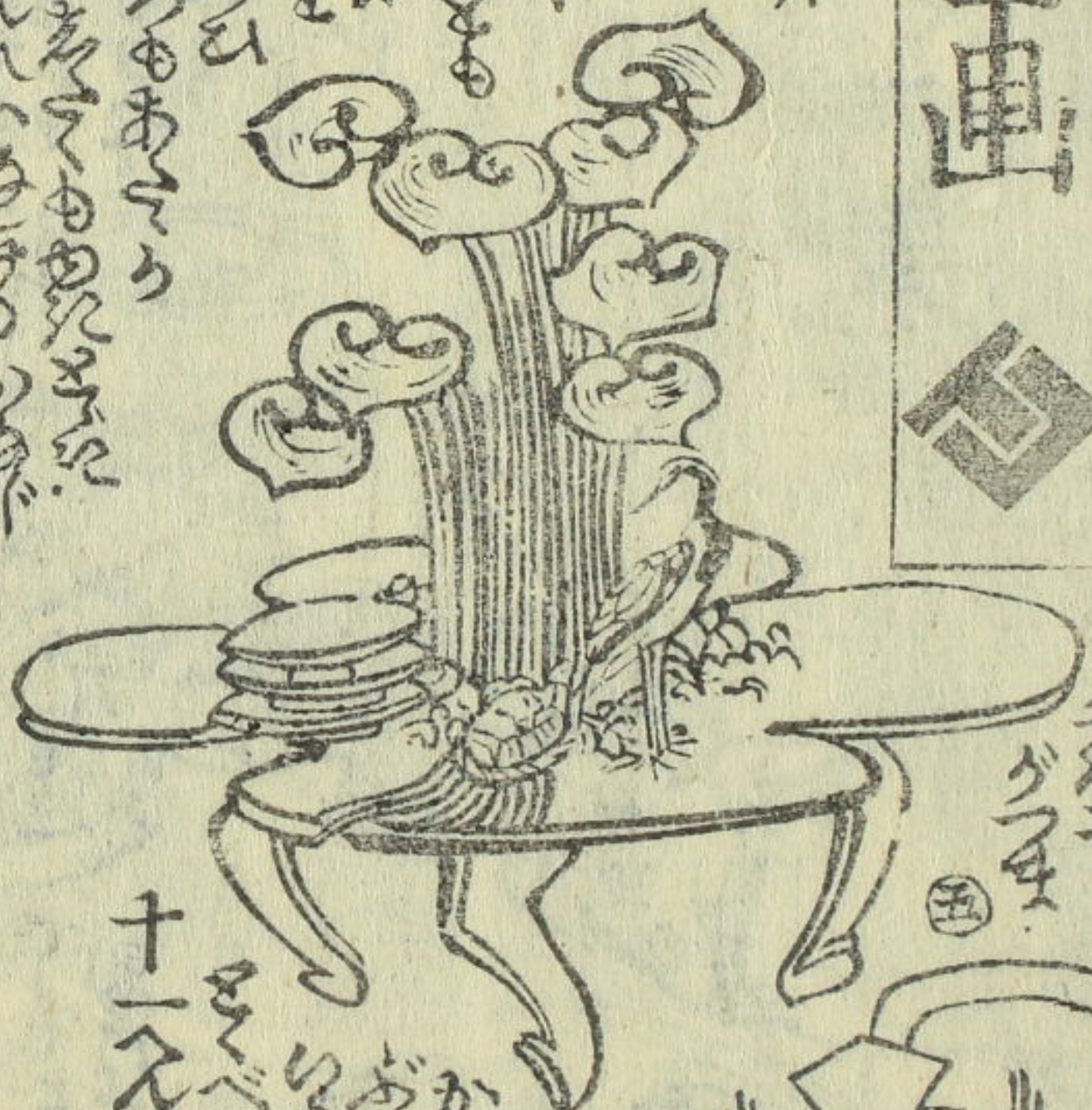
琴聲美人録十一編卷之上



京山老人作



國輝画



五言絶句... 竹... 金... 井... 田...

竹の... 金... 井... 田... 美人録十編卷下終

美人録十編卷下終... 此... 六... 根... 意...

見曹... 孔子... 中庸... 皇國... 聖人... 六根之...





琴聲美人録十一編

初段 つがねとあまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ



あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ



あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

あまのせがれ

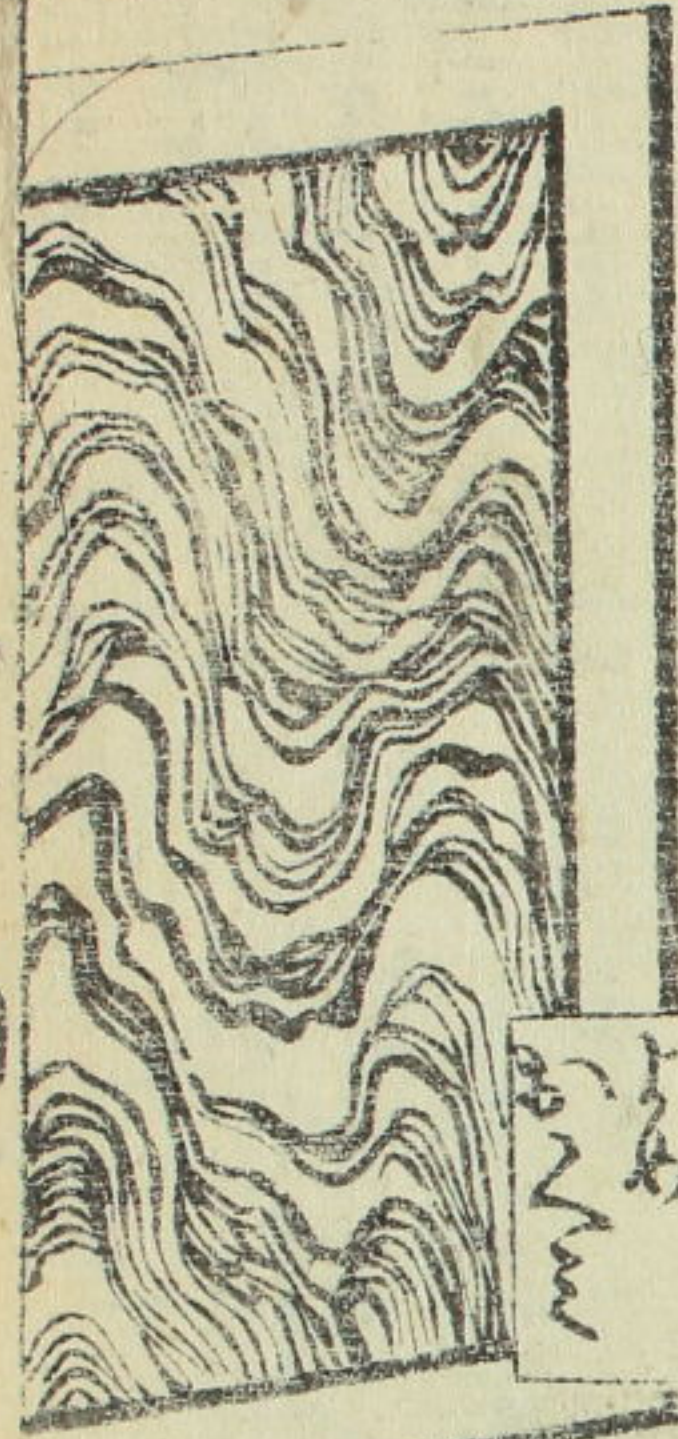
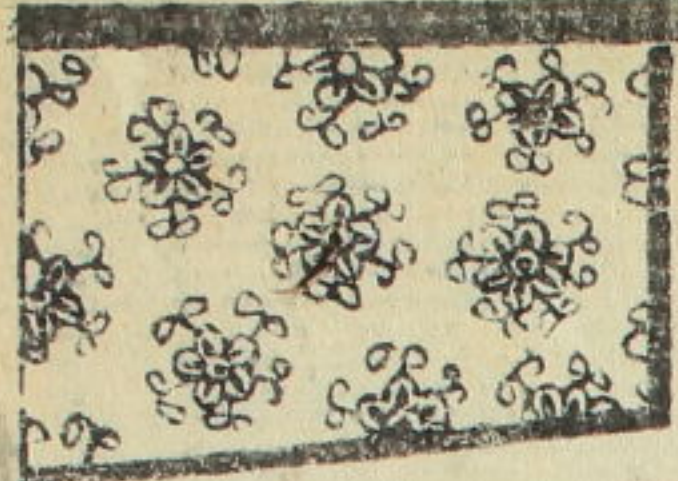
あまのせがれ

あまのせがれ

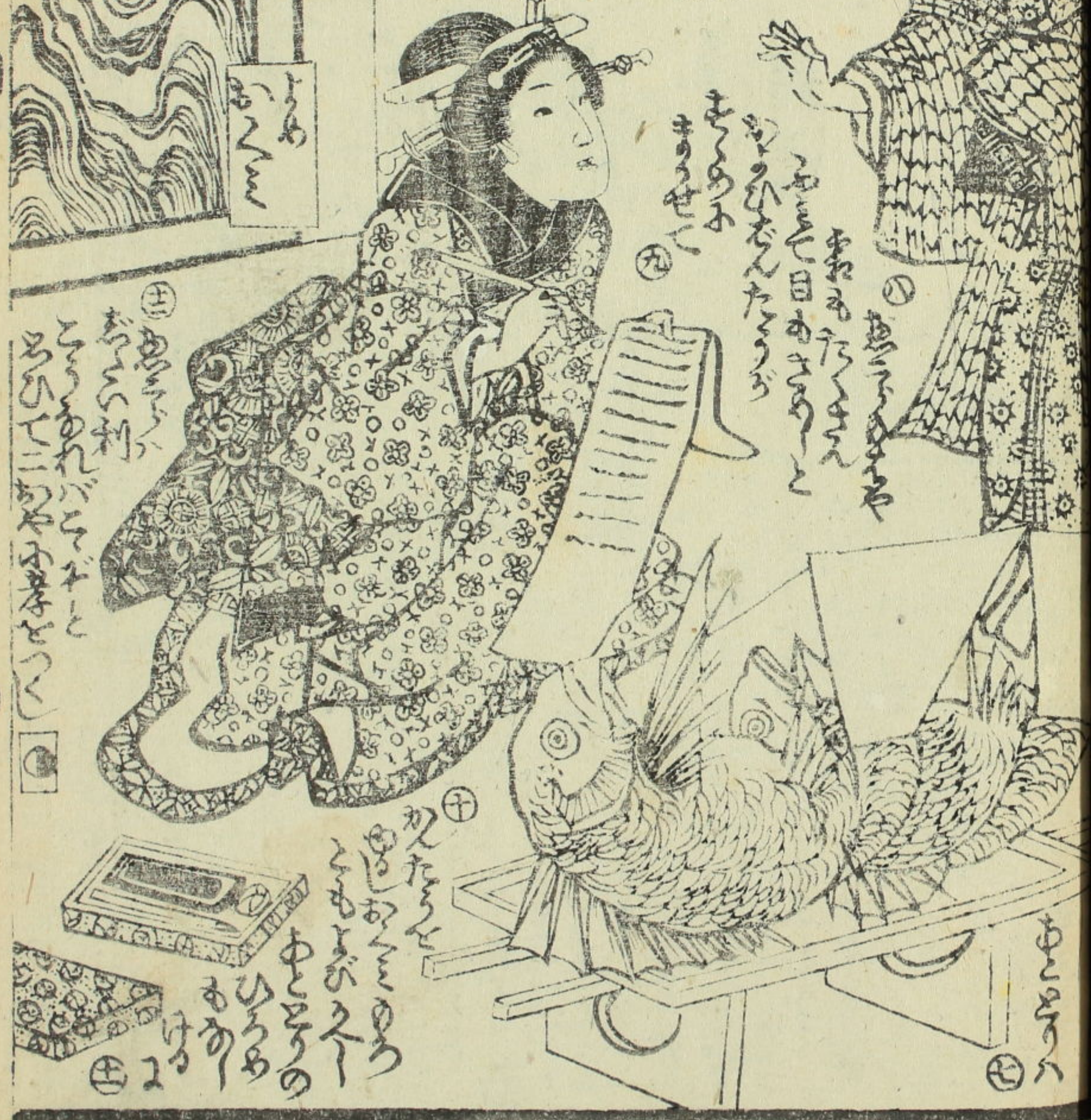
あまのせがれ

あまのせがれ

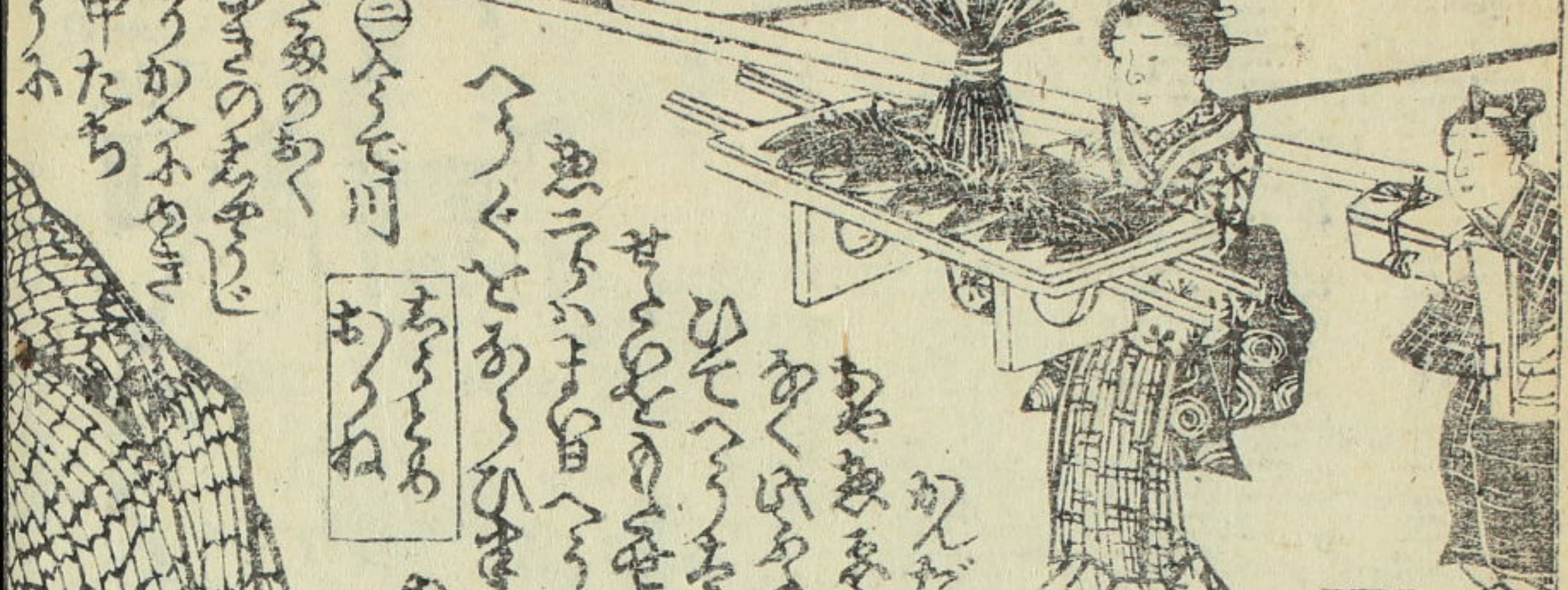
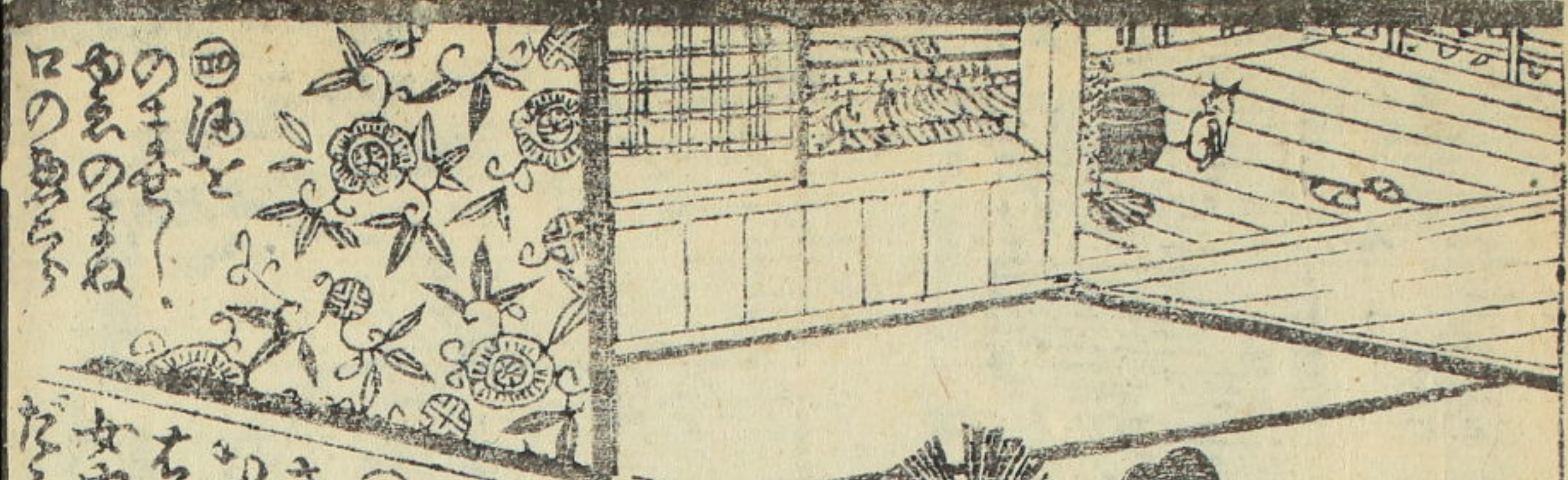
あまのせがれ



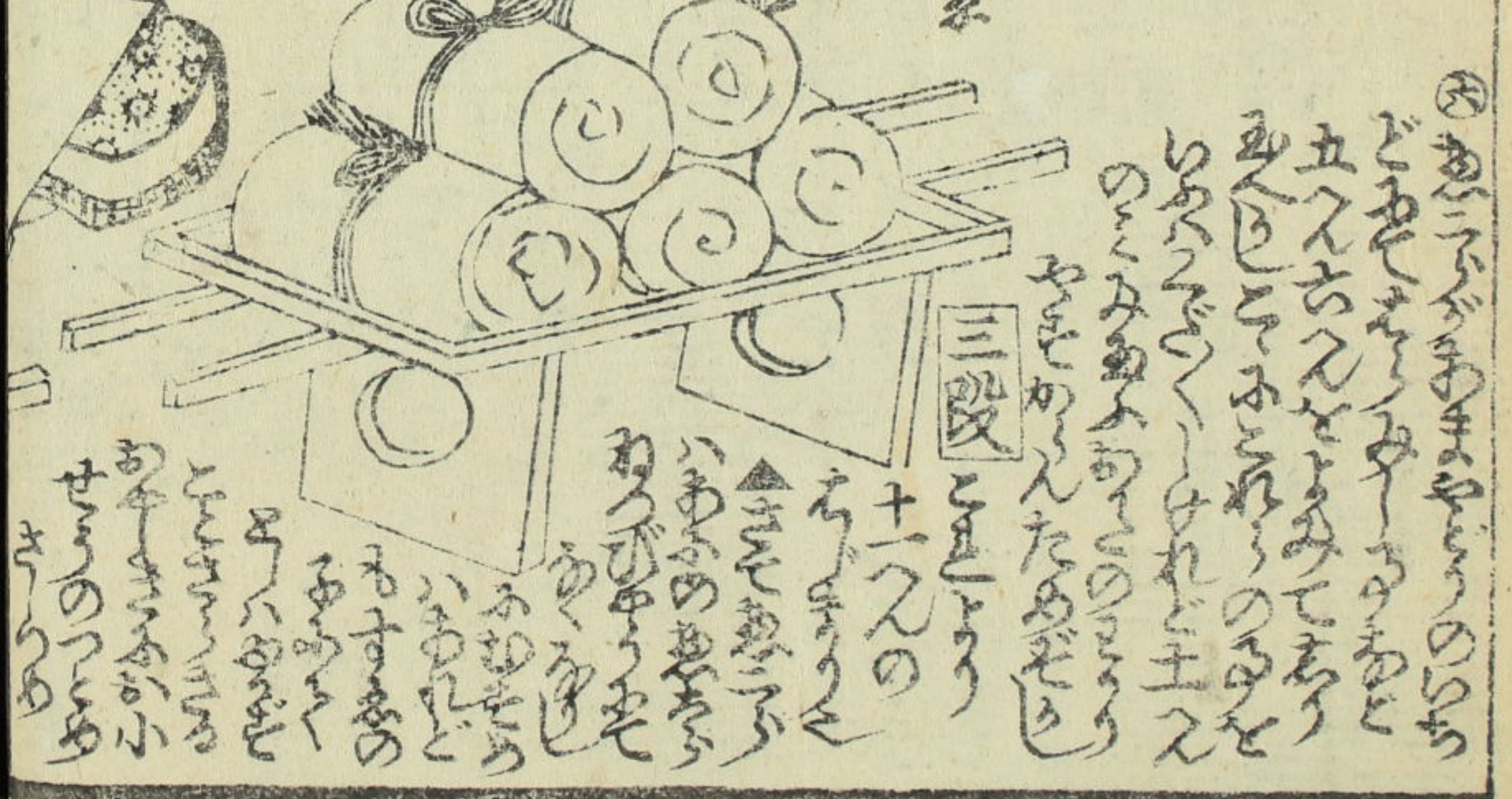
① 石を合とちま人がむきもちりく  
 かめりこのころの時  
 ② 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり  
 ③ だうあつたひり  
 ④ 男入とるひり  
 ⑤ ねるあつたひり  
 ⑥ 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり



① 石を合とちま人がむきもちりく  
 かめりこのころの時  
 ② 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり  
 ③ だうあつたひり  
 ④ 男入とるひり  
 ⑤ ねるあつたひり  
 ⑥ 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり



① 石を合とちま人がむきもちりく  
 かめりこのころの時  
 ② 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり  
 ③ だうあつたひり  
 ④ 男入とるひり  
 ⑤ ねるあつたひり  
 ⑥ 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり



① 石を合とちま人がむきもちりく  
 かめりこのころの時  
 ② 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり  
 ③ だうあつたひり  
 ④ 男入とるひり  
 ⑤ ねるあつたひり  
 ⑥ 下入十三日あつたお正月の十二月  
 九日ひつりてかきし時金  
 二十あつたひり









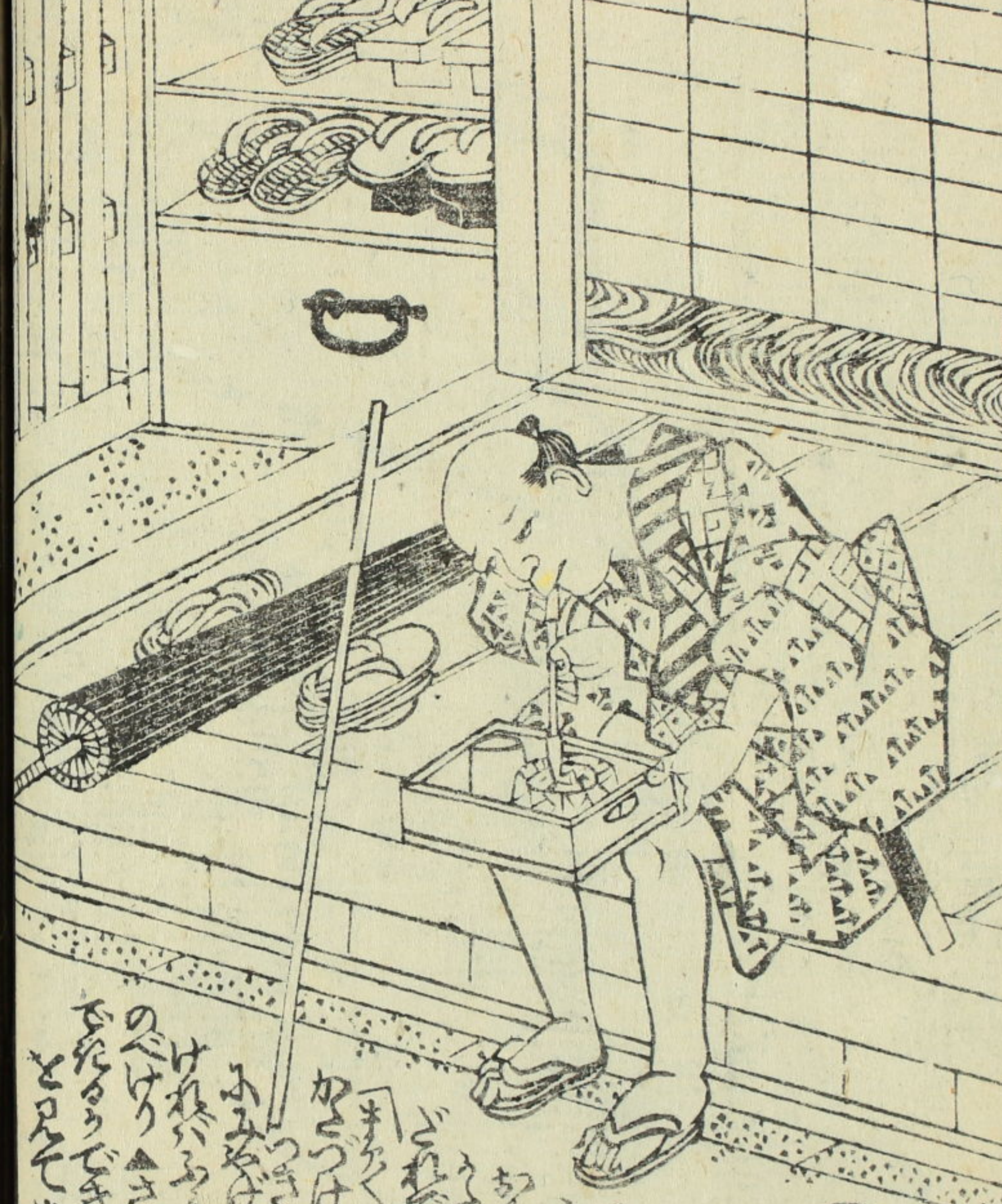






京山老人作 國輝画

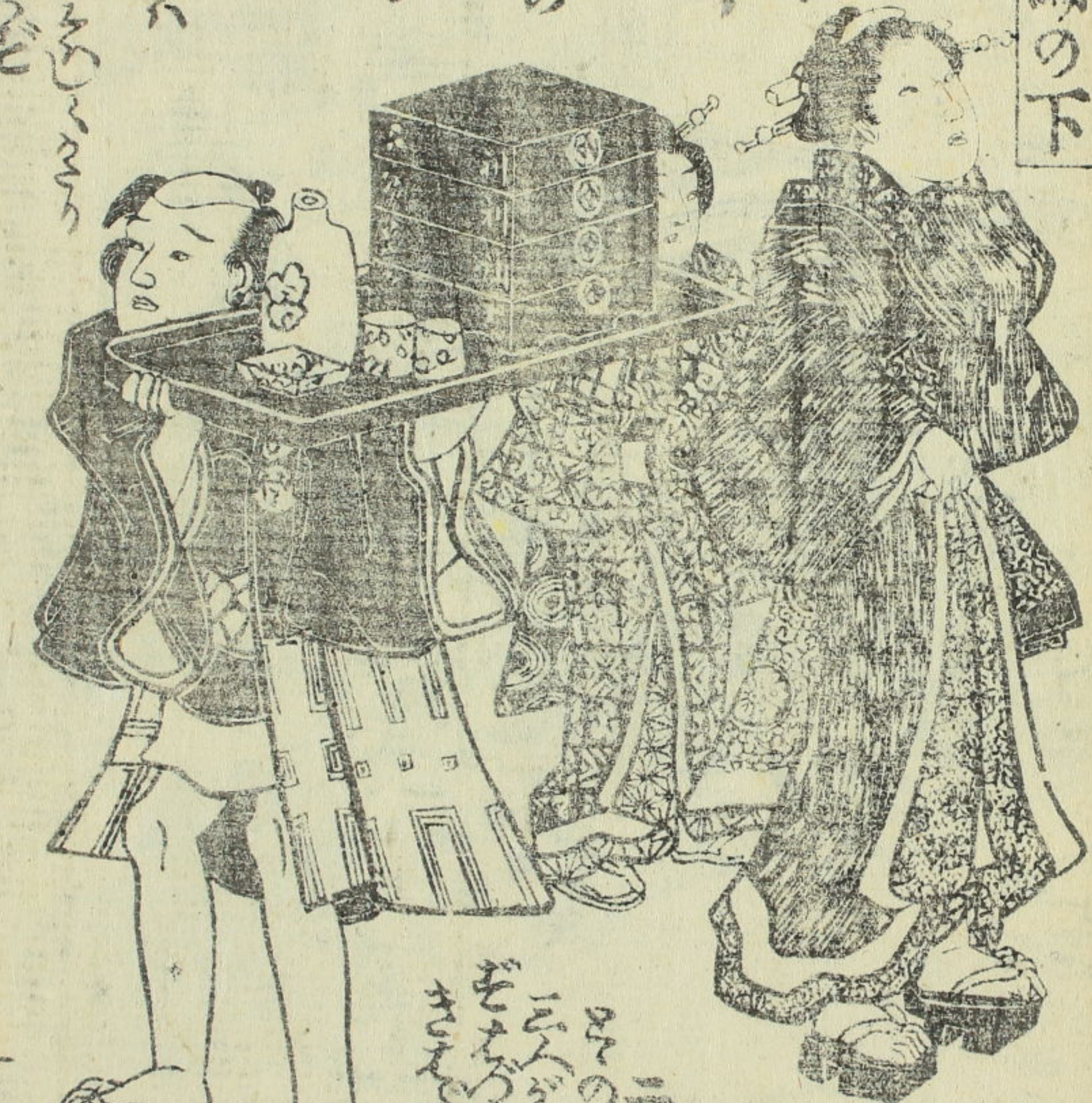
▲ 翠の二のめ  
 西のやまの金の屋  
 さいふくことおき子  
 よろこひけり  
 九段 翠の二のめ  
 らうまゆとらふ  
 あんこおき子けん  
 まち一けん  
 竹かじ一けん  
 翠の二のめ  
 やとれおき子  
 とはつておき子  
 翠の二のめ  
 びのせんとつこ  
 びのせんとつこ  
 西の中おき子の  
 ちきとのおき子  
 小内一の  
 むらう三えん  
 けりおき子  
 あるおき子  
 つねおき子  
 おき子  
 おき子  
 おき子



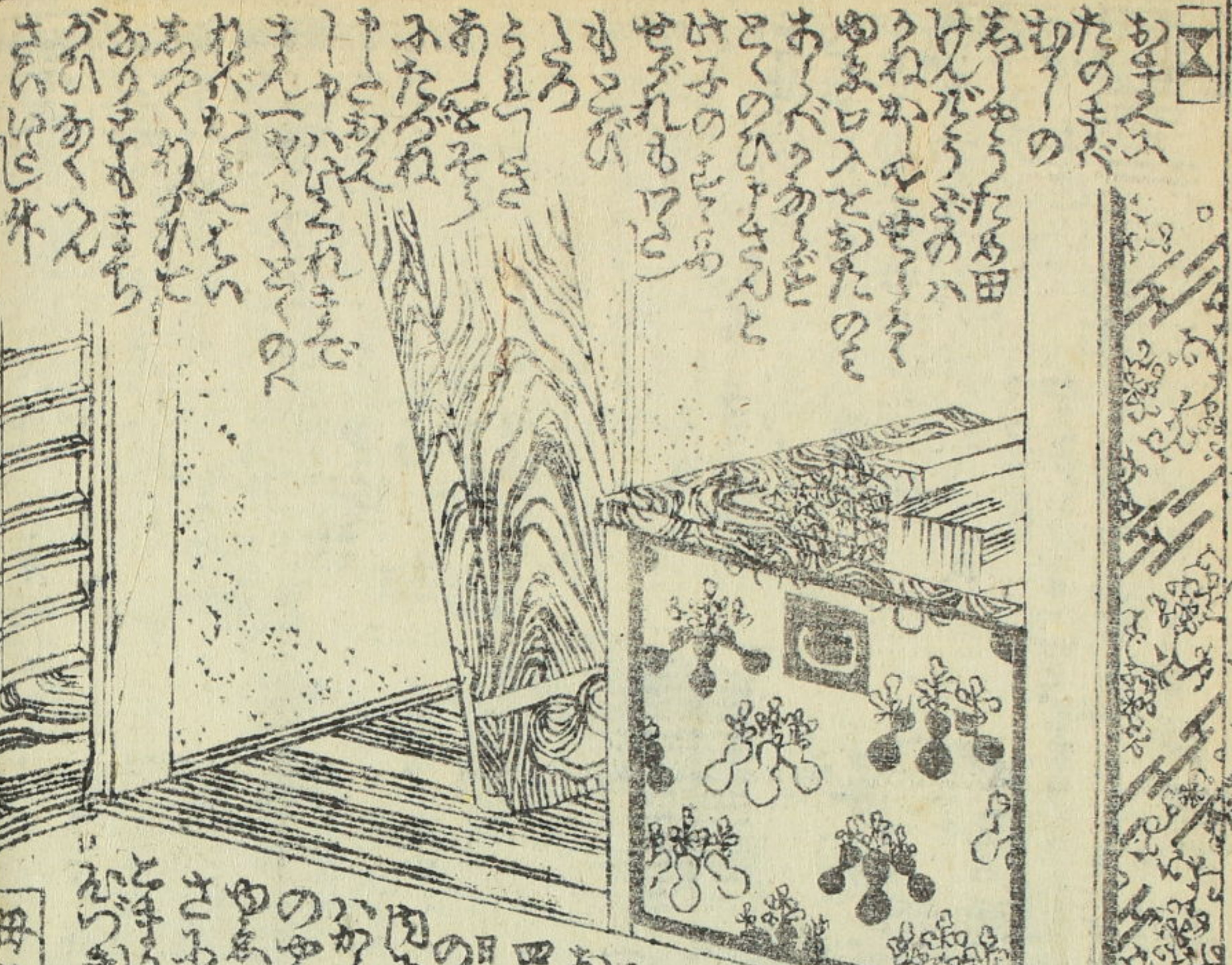
③ 翠の二のめ  
 あんこおき子  
 けれおき子  
 翠の二のめ  
 とらふおき子  
 ておき子  
 翠の二のめ  
 びのせんとつこ  
 びのせんとつこ  
 西の中おき子の  
 ちきとのおき子  
 小内一の  
 むらう三えん  
 けりおき子  
 あるおき子  
 つねおき子  
 おき子  
 おき子  
 おき子

翠の二のめ

九段よりききよ翠の二のめ  
 らうまゆとらふ  
 あんこおき子けん  
 まち一けん  
 竹かじ一けん  
 翠の二のめ  
 やとれおき子  
 とはつておき子  
 翠の二のめ  
 びのせんとつこ  
 びのせんとつこ  
 西の中おき子の  
 ちきとのおき子  
 小内一の  
 むらう三えん  
 けりおき子  
 あるおき子  
 つねおき子  
 おき子  
 おき子  
 おき子



④ 翠の二のめ  
 あんこおき子  
 けれおき子  
 翠の二のめ  
 とらふおき子  
 ておき子  
 翠の二のめ  
 びのせんとつこ  
 びのせんとつこ  
 西の中おき子の  
 ちきとのおき子  
 小内一の  
 むらう三えん  
 けりおき子  
 あるおき子  
 つねおき子  
 おき子  
 おき子  
 おき子

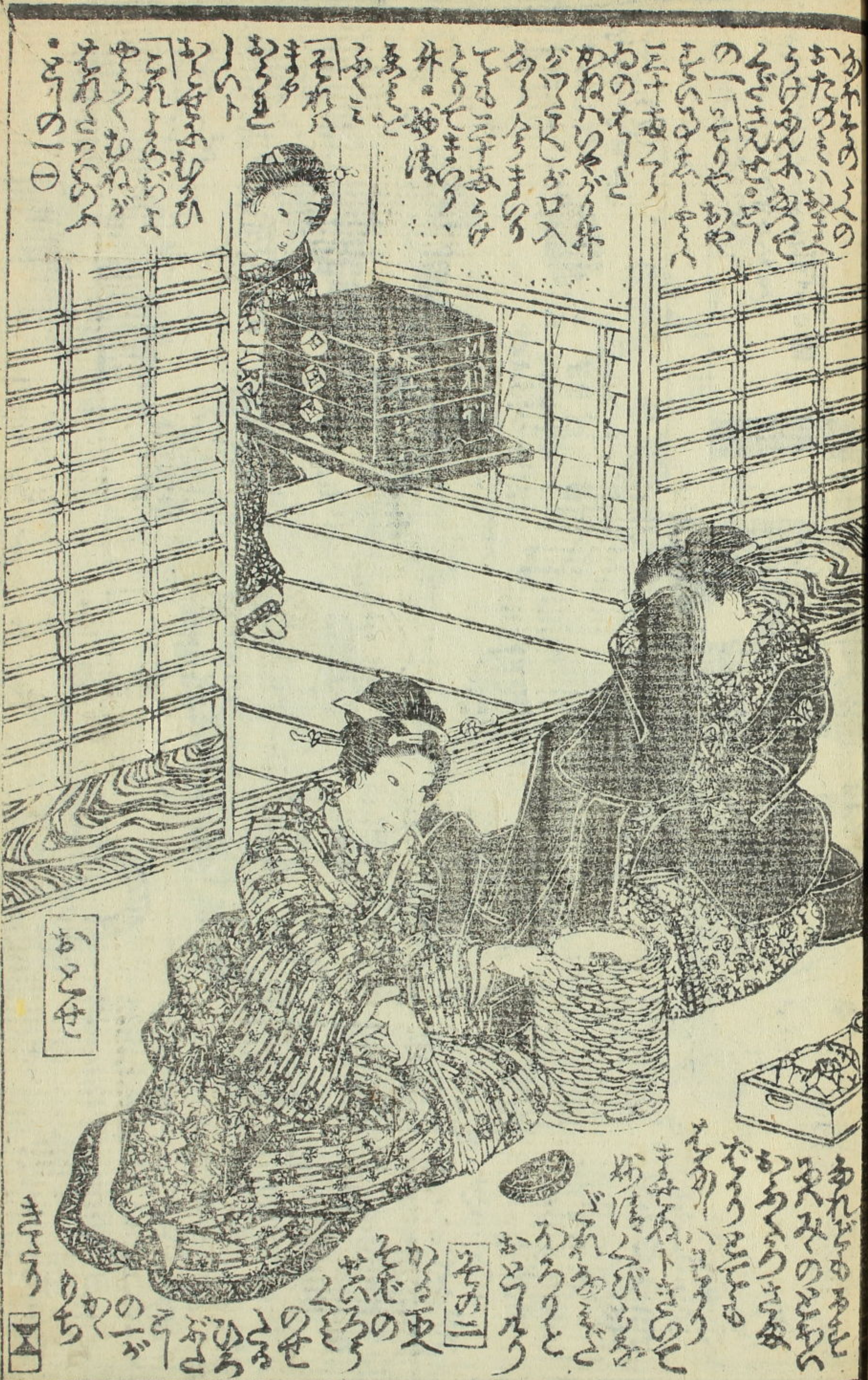


お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま



お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま

お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま



お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま

お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま  
お早ふ  
たのま





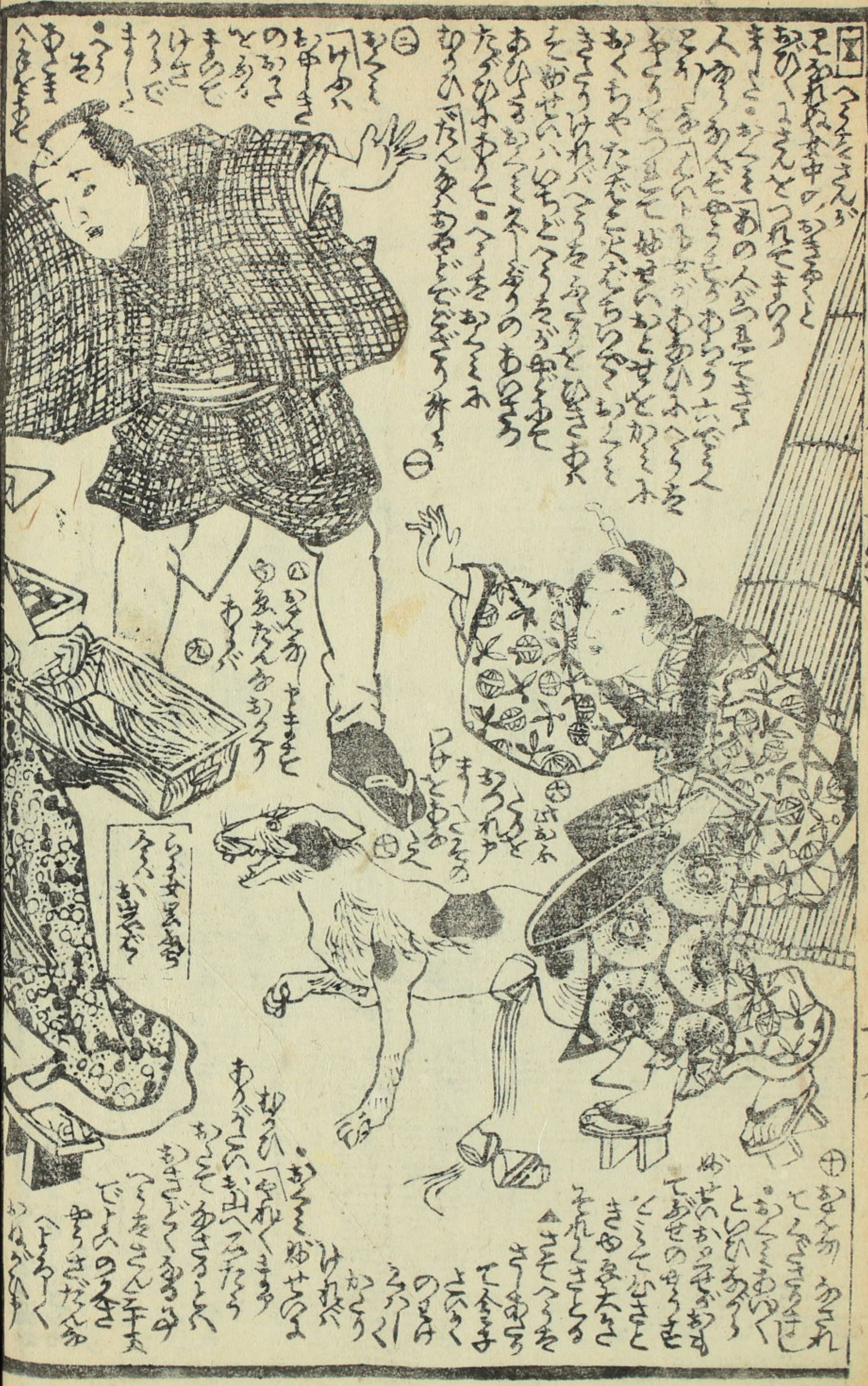






おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし

おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし



おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし

おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし  
おのろし

① 此の如くは...  
 ② 此の如くは...  
 ③ 此の如くは...  
 ④ 此の如くは...  
 ⑤ 此の如くは...

⑥ 此の如くは...  
 ⑦ 此の如くは...  
 ⑧ 此の如くは...



⑨ 此の如くは...  
 ⑩ 此の如くは...  
 ⑪ 此の如くは...

⑫ 此の如くは...  
 ⑬ 此の如くは...  
 ⑭ 此の如くは...  
 ⑮ 此の如くは...  
 ⑯ 此の如くは...



⑰ 此の如くは...  
 ⑱ 此の如くは...  
 ⑲ 此の如くは...





弥五裁

あまを

① ころもやうなはだか、うしろを  
くみかきあげて、うしろも  
かきあげて、うしろも  
かきあげて、うしろも

② あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

③ あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

④ あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

⑤ あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを



目玉の市

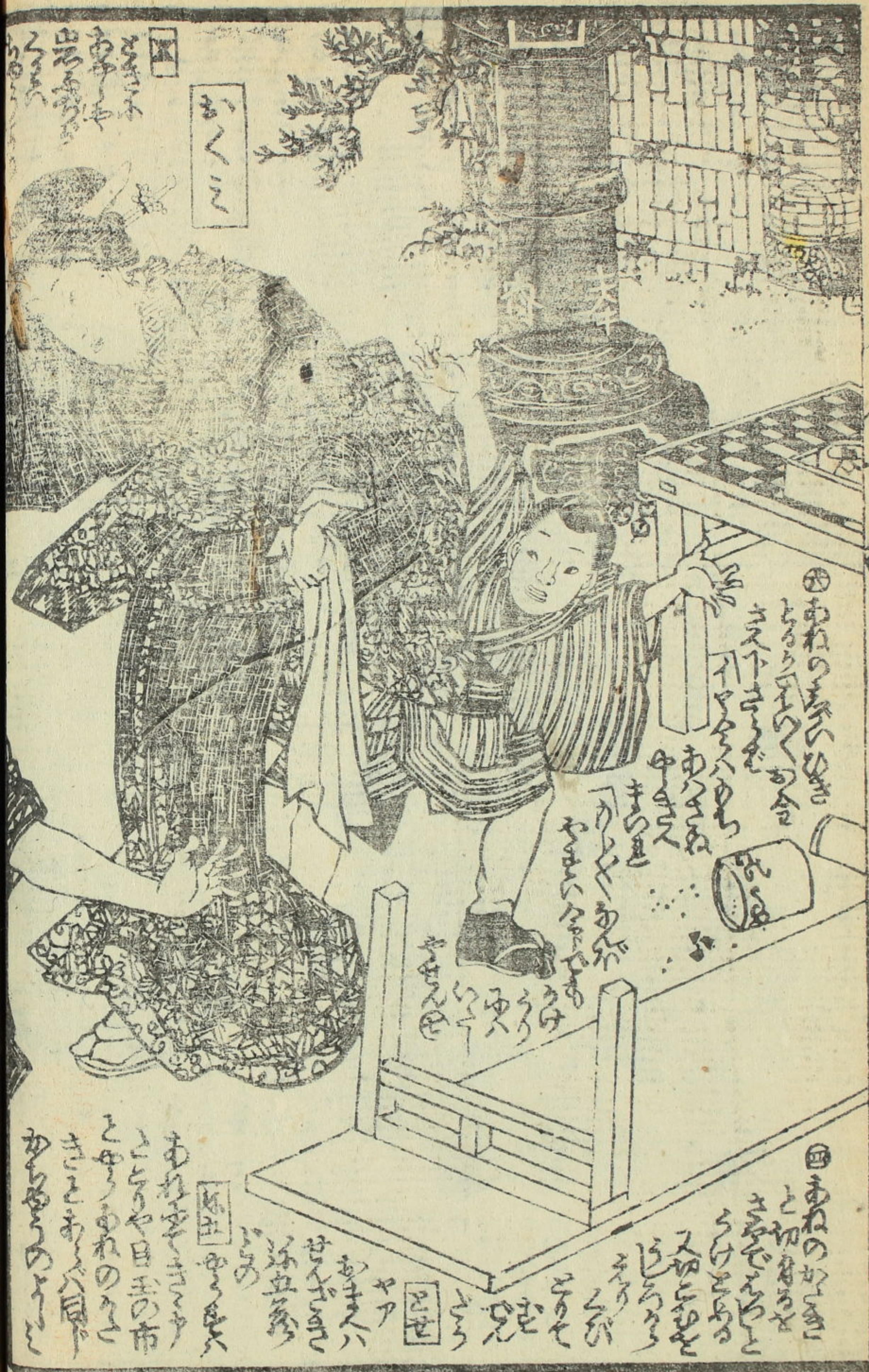
① あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

② あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

③ あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

④ あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを

⑤ あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを  
あまを、あまを、あまを



あまの  
あまの  
あまの

かくこ

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

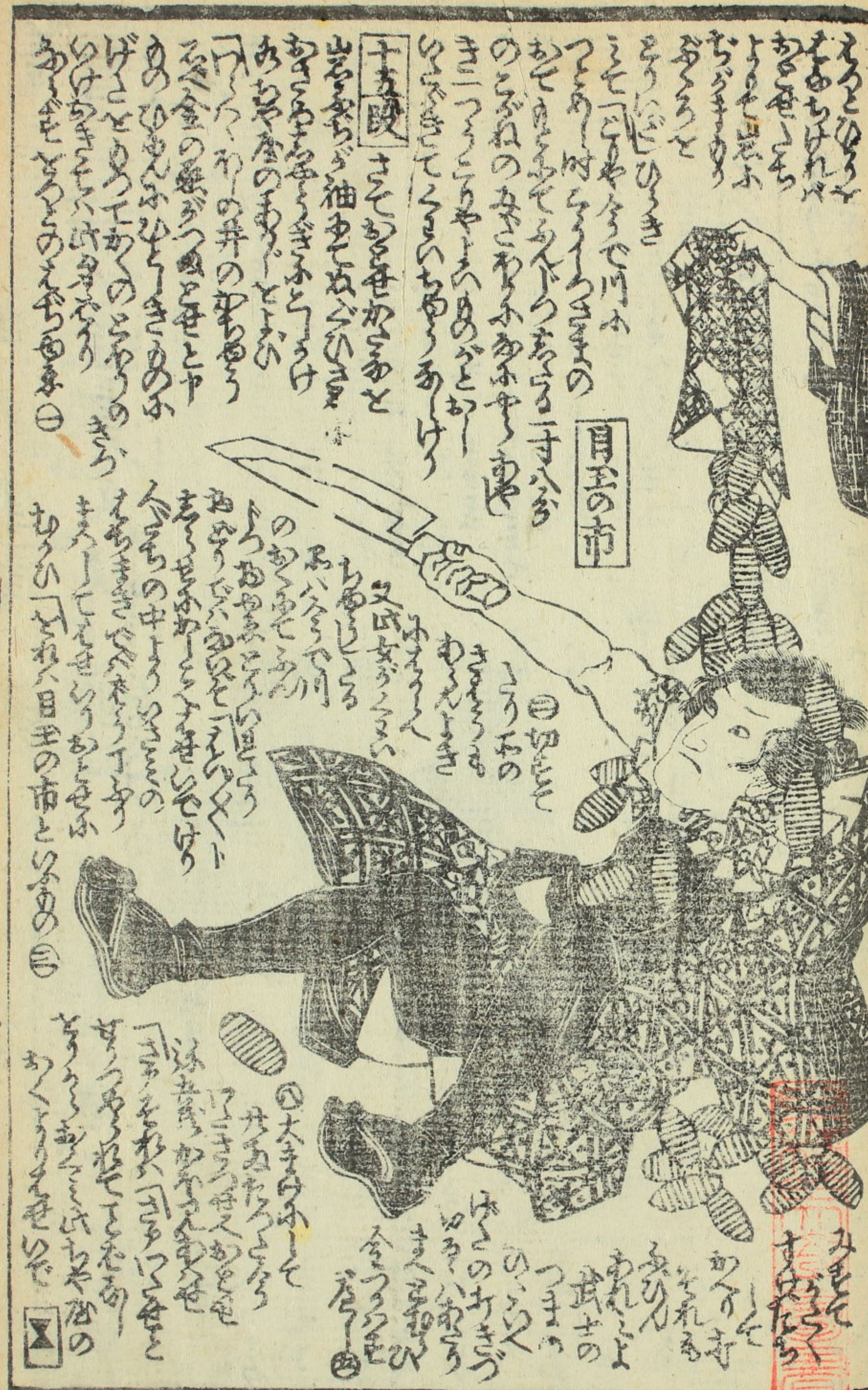
あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの



あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

あねの  
あねの  
あねの

# 京山老人作



市ノ  
 京山老人作  
 此書は上巻より迄古  
 口との女の風俗の  
 合老所・杯み  
 人達のむろりすむと  
 多かぬつはすべし  
 大にまうとて  
 ありはるる  
 抄り 女中へ  
 さうえむべき  
 あり



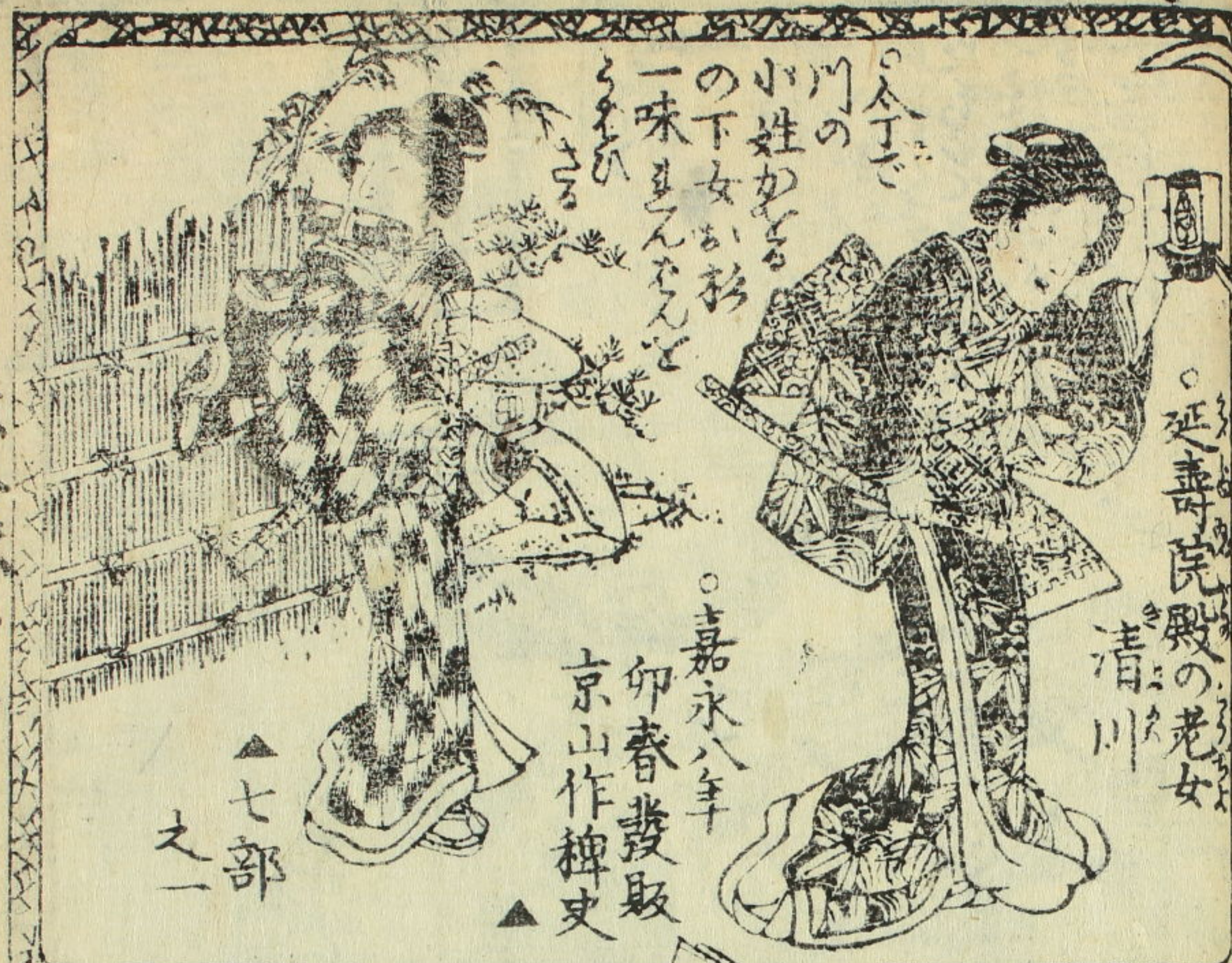
## 國輝画

ひとろく土をん  
 十二  
 ひきつ  
 ひきつ

京山冊子の筆と採り居るを葉はたふ拾ひ集り五十年  
 の学友おのきと同甲子ある御梨の翁取り茶道も友ありれバ  
 風趣に對ひは葉點々の手せけるお札上はりし冊子の稿本と  
 取りひらき見と札上はりしおき譜けるハハり手でうかる益あり冊子  
 小筆と費し一ふぶぞやかねてきてる王の作女装考ハ某の翁がちを  
 そくと梓行いかけるときね骨董集ハ家兄の遺稿もあるべしとて  
 書物りき物ノ筆ととり入るるあま物れすきことありし張三李  
 四と伍と爲ハ具眼のころひも氣のどくあり八十六の歳も耻取と  
 葉おまねまきね諫の金言京山まろわるあは後 扱はあざ淺學  
 不文の京山が冊子乃作ハ分足り駈しとゆる玉へ採りト笑へり  
 此日ありしきとあつて序と好しぬ

八十六歳  
 山東菴京山



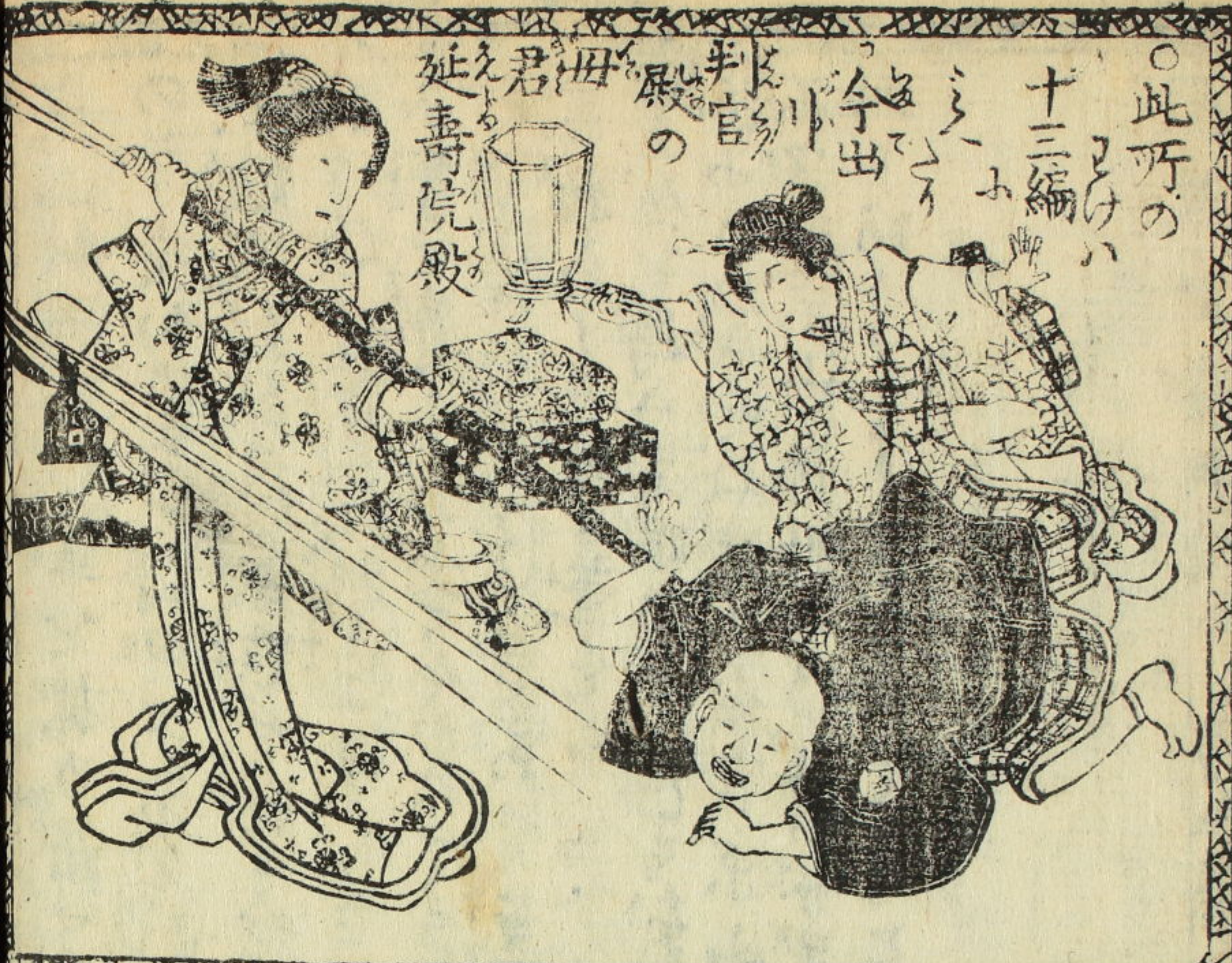


七部  
之一

嘉永八年  
卯春 葭取  
京山作 柳史

延壽院殿の老女  
清川

今丁で  
門の  
小姓か  
の下女か  
一味は  
とんぼ



此町の  
十三編  
今出  
判官  
殿の  
君母  
延壽院殿

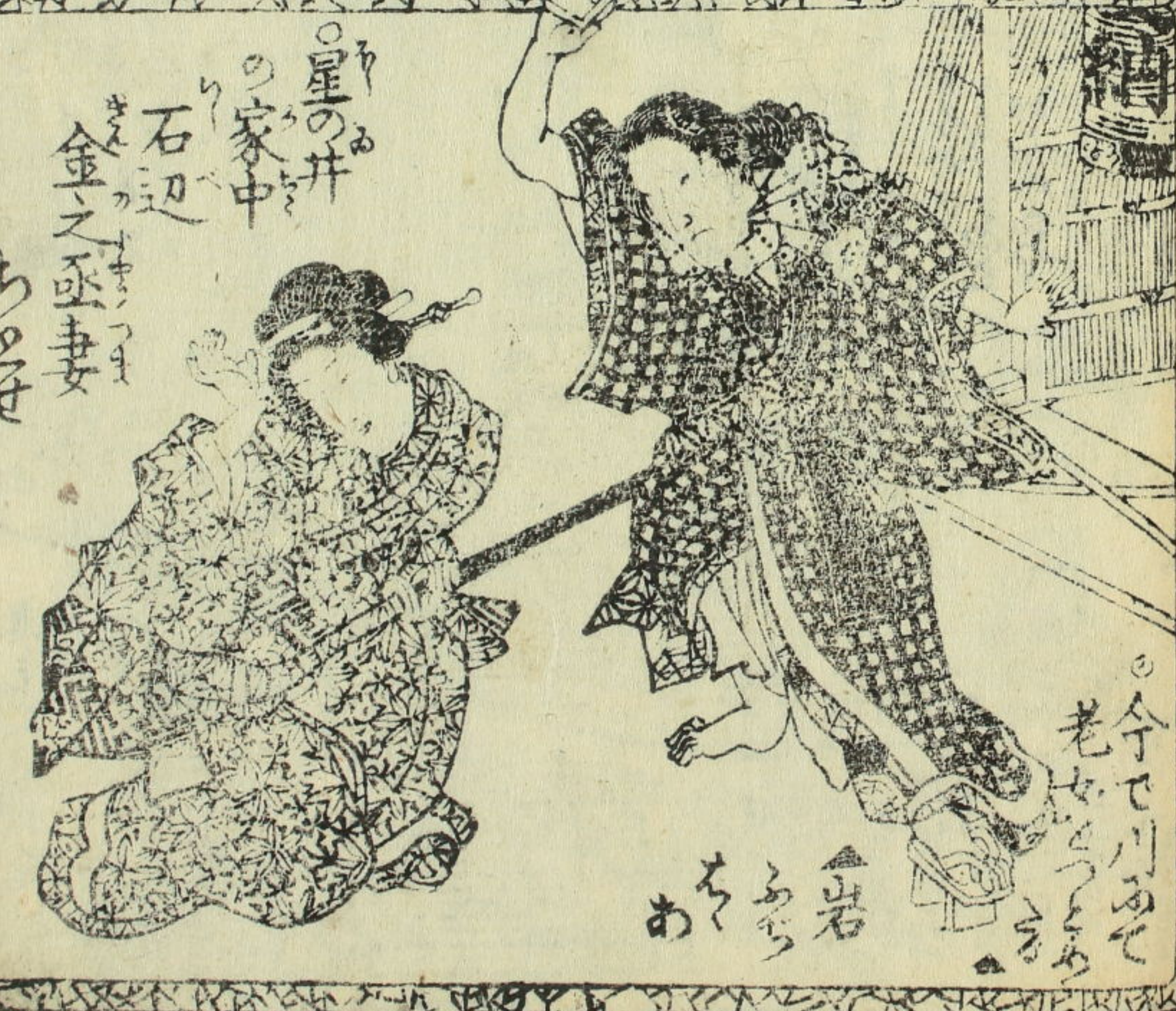


今出  
の家老  
家尾  
九郎太

今  
で川  
えん  
の  
小姓  
か

今で川  
老女

あ  
あ  
あ



星の井  
の家  
石辺  
金之丞  
ちとせ



美人採種段

おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる  
おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる



おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる  
おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる

おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる  
おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる

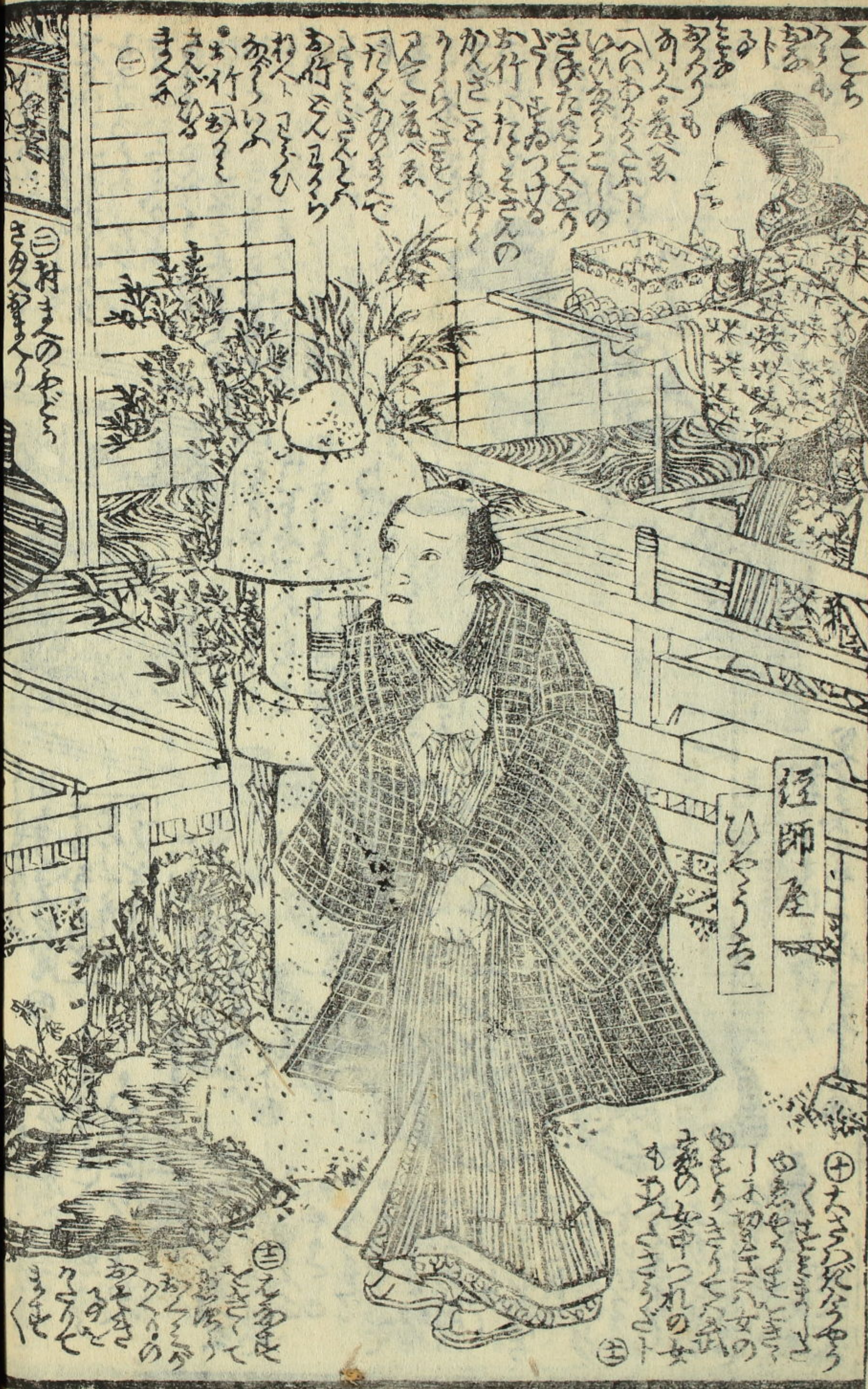


おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる  
おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる

おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる  
おのれは村まへの  
ふらふらとせんけのふ  
たらのてあまやま  
かきとわさるる

美人採種段

二



① 朝の光  
 ② 夕の光  
 ③ 月夜の光  
 ④ 花の光  
 ⑤ 雪の光  
 ⑥ 雨の光  
 ⑦ 風の光  
 ⑧ 雲の光  
 ⑨ 霧の光  
 ⑩ 煙の光  
 ⑪ 露の光  
 ⑫ 霜の光

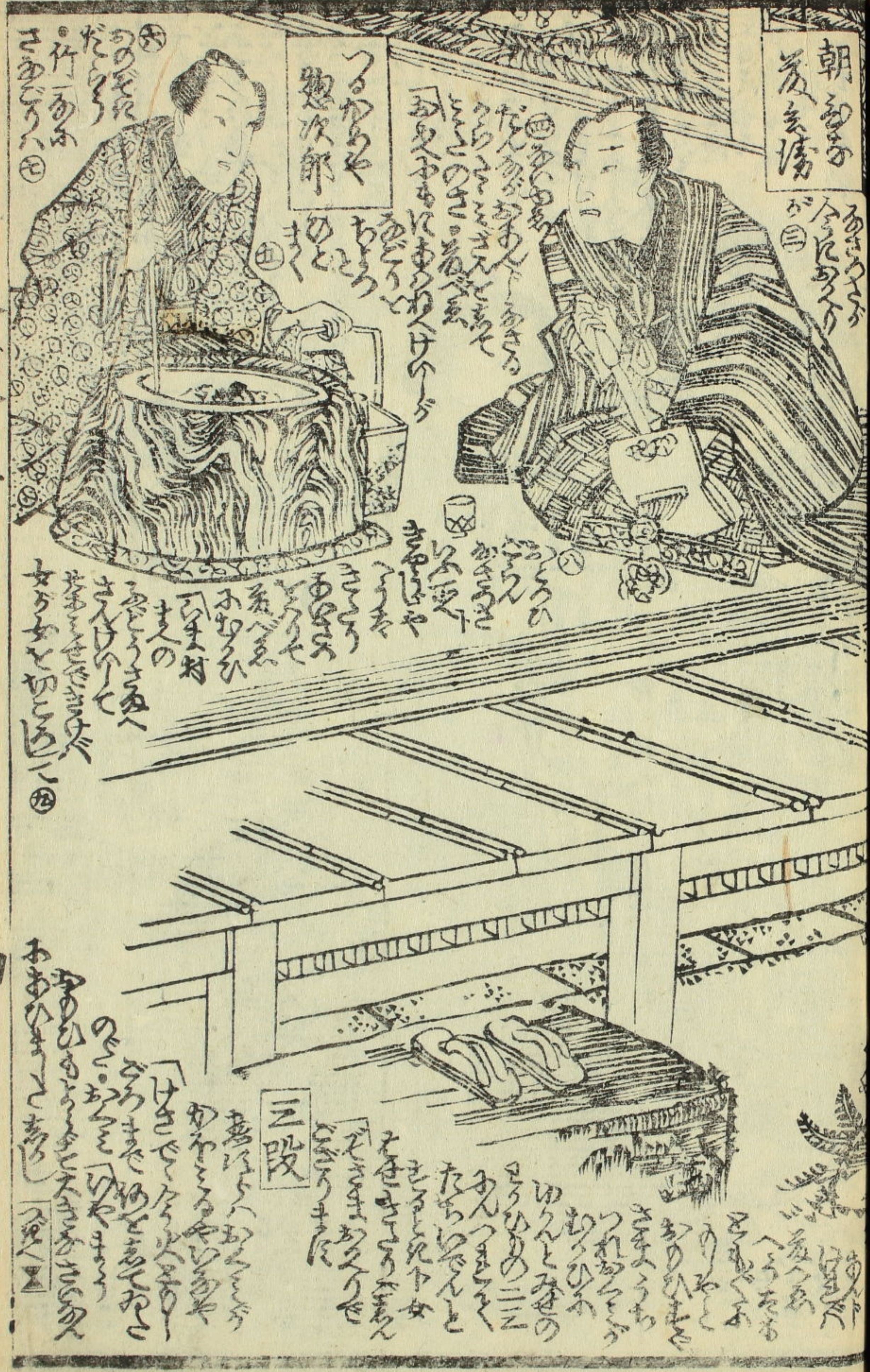
⑬ 朝の光  
 ⑭ 夕の光  
 ⑮ 月夜の光  
 ⑯ 花の光  
 ⑰ 雪の光  
 ⑱ 雨の光  
 ⑲ 風の光  
 ⑳ 雲の光  
 ㉑ 霧の光  
 ㉒ 煙の光  
 ㉓ 露の光  
 ㉔ 霜の光

⑳ 朝の光  
 ㉕ 夕の光  
 ㉖ 月夜の光  
 ㉗ 花の光  
 ㉘ 雪の光  
 ㉙ 雨の光  
 ㉚ 風の光  
 ㉛ 雲の光  
 ㉜ 霧の光  
 ㉝ 煙の光  
 ㉞ 露の光  
 ㉟ 霜の光

㊱ 朝の光  
 ㊲ 夕の光  
 ㊳ 月夜の光  
 ㊴ 花の光  
 ㊵ 雪の光  
 ㊶ 雨の光  
 ㊷ 風の光  
 ㊸ 雲の光  
 ㊹ 霧の光  
 ㊺ 煙の光  
 ㊻ 露の光  
 ㊼ 霜の光

㊽ 朝の光  
 ㊾ 夕の光  
 ㊿ 月夜の光  
 ㊿ 花の光  
 ㊿ 雪の光  
 ㊿ 雨の光  
 ㊿ 風の光  
 ㊿ 雲の光  
 ㊿ 霧の光  
 ㊿ 煙の光  
 ㊿ 露の光  
 ㊿ 霜の光

㊿ 朝の光  
 ㊿ 夕の光  
 ㊿ 月夜の光  
 ㊿ 花の光  
 ㊿ 雪の光  
 ㊿ 雨の光  
 ㊿ 風の光  
 ㊿ 雲の光  
 ㊿ 霧の光  
 ㊿ 煙の光  
 ㊿ 露の光  
 ㊿ 霜の光



朝の光  
 夕の光  
 月夜の光  
 花の光  
 雪の光  
 雨の光  
 風の光  
 雲の光  
 霧の光  
 煙の光  
 露の光  
 霜の光

朝の光  
 夕の光  
 月夜の光  
 花の光  
 雪の光  
 雨の光  
 風の光  
 雲の光  
 霧の光  
 煙の光  
 露の光  
 霜の光

朝の光  
 夕の光  
 月夜の光  
 花の光  
 雪の光  
 雨の光  
 風の光  
 雲の光  
 霧の光  
 煙の光  
 露の光  
 霜の光

朝の光  
 夕の光  
 月夜の光  
 花の光  
 雪の光  
 雨の光  
 風の光  
 雲の光  
 霧の光  
 煙の光  
 露の光  
 霜の光

朝の光  
 夕の光  
 月夜の光  
 花の光  
 雪の光  
 雨の光  
 風の光  
 雲の光  
 霧の光  
 煙の光  
 露の光  
 霜の光

朝の光  
 夕の光  
 月夜の光  
 花の光  
 雪の光  
 雨の光  
 風の光  
 雲の光  
 霧の光  
 煙の光  
 露の光  
 霜の光

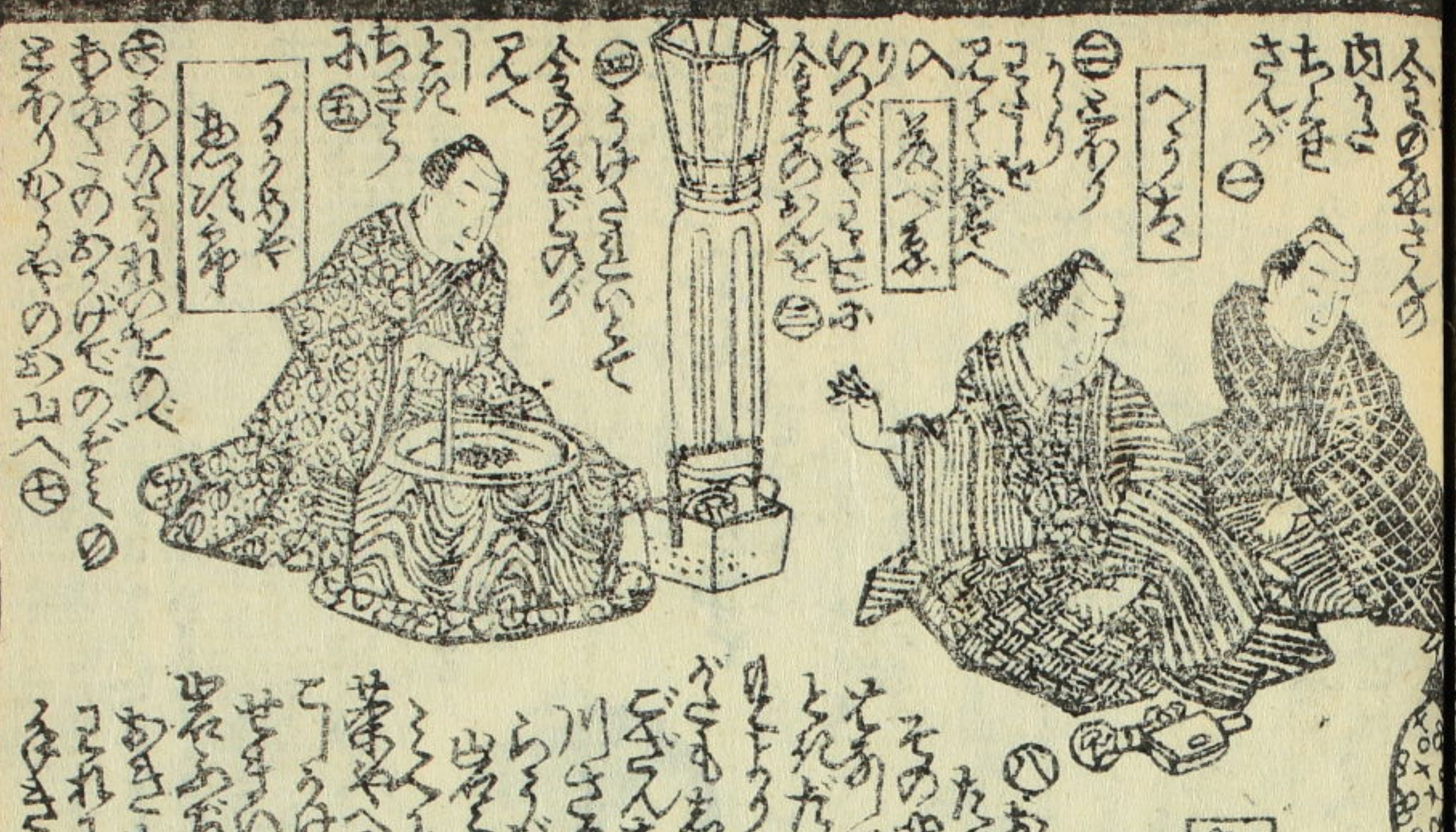
△ふとらと女のおまけやうゆいもあ  
ふんをききうてかえりてはくしりくハ  
ふんをききうてかえりてはくしりくハ  
ふんをききうてかえりてはくしりくハ  
ふんをききうてかえりてはくしりくハ

あつちのいまま  
たじろいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま



△あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま

あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま



あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま



あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま  
あつちのいまま



つるかめ  
お次郎

へうき

井の  
けら  
あはれ



おんぬ

おんぬ  
あはれ

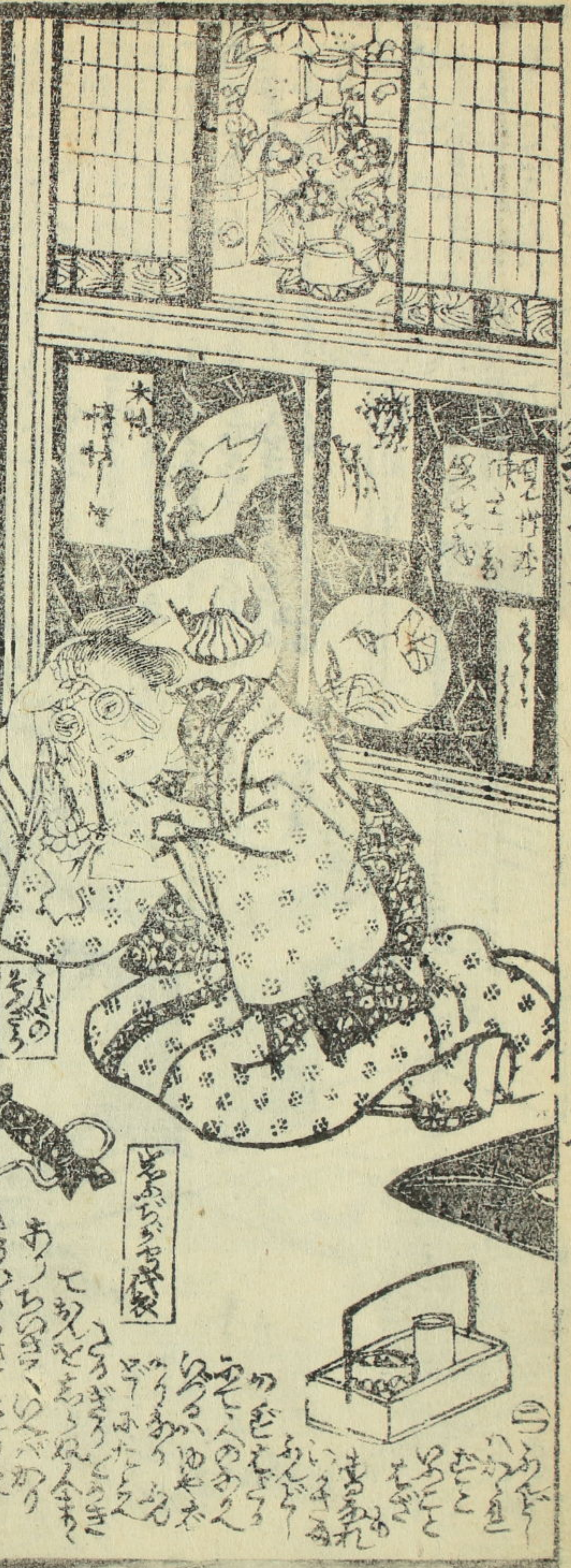
あはれ  
おんぬ

① ちとせのうらなひに  
 ② ちとせのうらなひに  
 ③ ちとせのうらなひに  
 ④ ちとせのうらなひに  
 ⑤ ちとせのうらなひに  
 ⑥ ちとせのうらなひに  
 ⑦ ちとせのうらなひに  
 ⑧ ちとせのうらなひに  
 ⑨ ちとせのうらなひに  
 ⑩ ちとせのうらなひに  
 ⑪ ちとせのうらなひに  
 ⑫ ちとせのうらなひに

① ちとせのうらなひに  
 ② ちとせのうらなひに  
 ③ ちとせのうらなひに  
 ④ ちとせのうらなひに  
 ⑤ ちとせのうらなひに  
 ⑥ ちとせのうらなひに  
 ⑦ ちとせのうらなひに  
 ⑧ ちとせのうらなひに  
 ⑨ ちとせのうらなひに  
 ⑩ ちとせのうらなひに  
 ⑪ ちとせのうらなひに  
 ⑫ ちとせのうらなひに



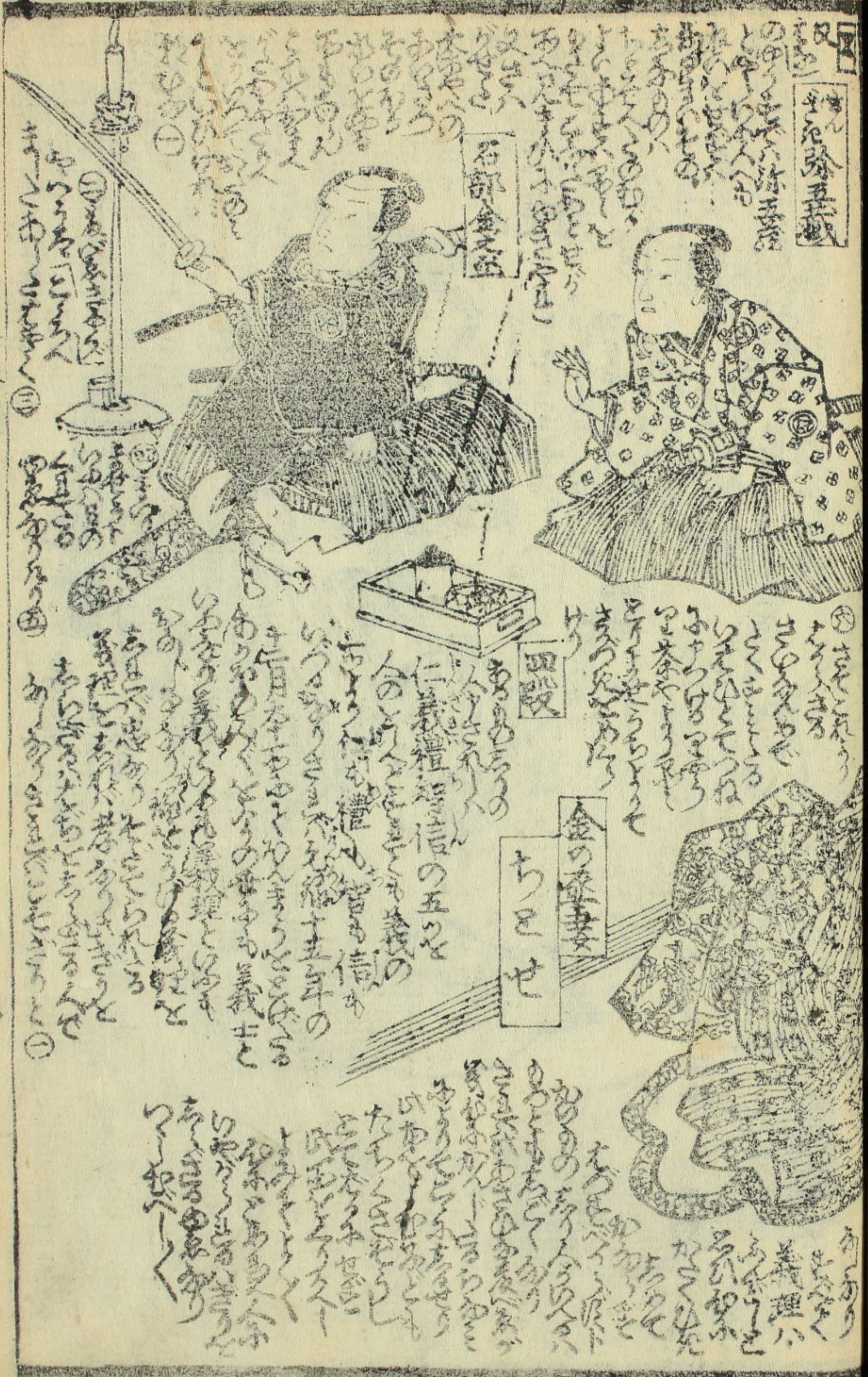




金の母

金の母

金の母



石部金五郎

石部金五郎

金の母

金の母

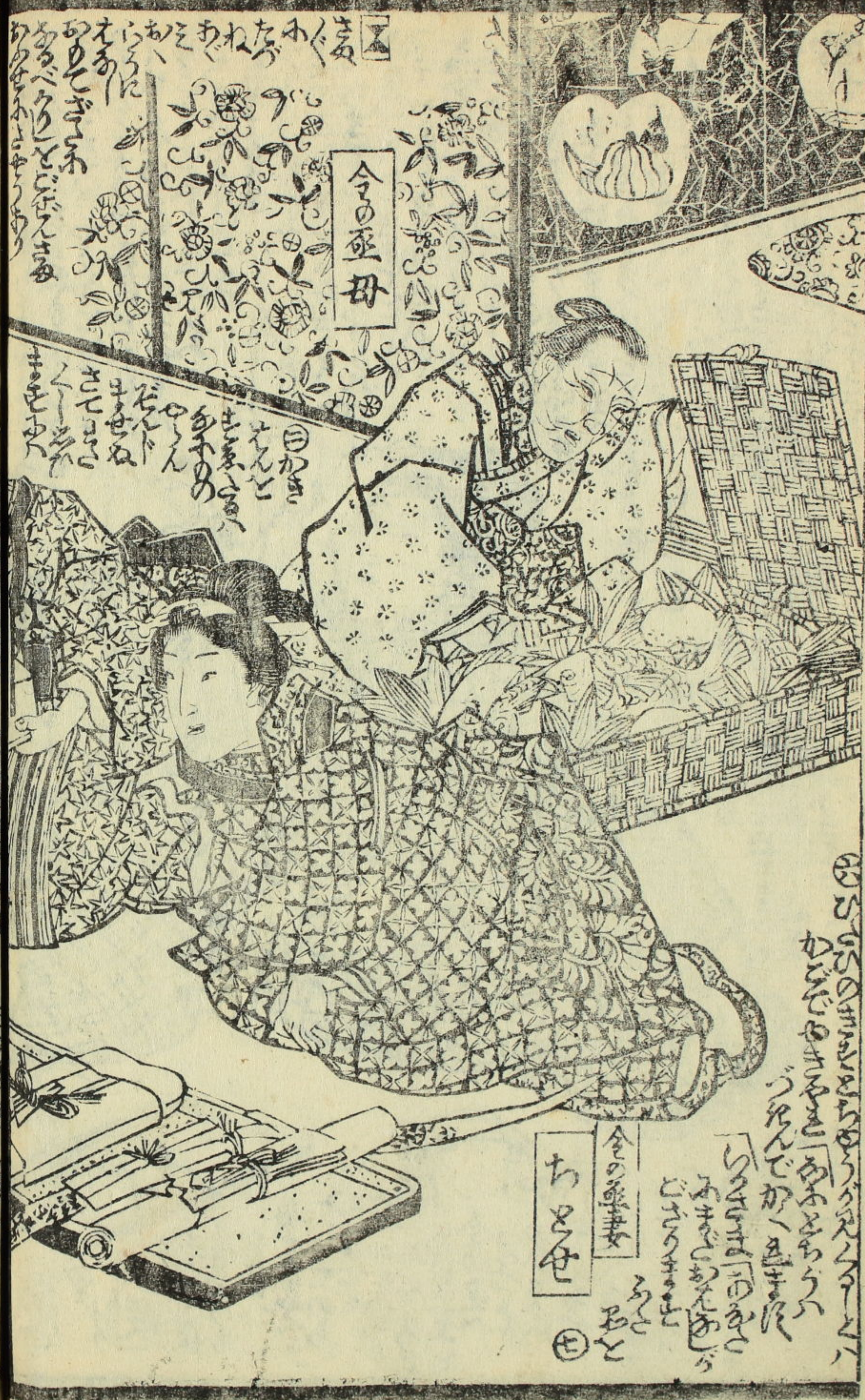
金の母

金の母

金の母

金の母





今の巫母

今の巫妻  
ちとせ

⑤  
 今の巫妻  
 ちとせ  
 ⑥  
 今の巫母  
 ちとせ



徳二郎妻

おん

③  
 今の巫母  
 ちとせ  
 ④  
 今の巫妻  
 ちとせ

④  
 今の巫母  
 ちとせ  
 ⑤  
 今の巫妻  
 ちとせ

⑥  
 今の巫母  
 ちとせ  
 ⑦  
 今の巫妻  
 ちとせ

徳

# 京山老人作

あつちきつむらひのひかりあかね  
 夜まじりのひかりあかね  
 かち。ちとせ。あつちきつむらひのひかりあかね  
 人さなはひてゑのまゝあつちきつむらひのひかりあかね  
 善人あつちきつむらひのひかりあかね  
 悪人あつちきつむらひのひかりあかね  
 こまじりのひかりあかね

七段 かくてあつちきつむらひのひかりあかね  
 母へかたりて川へみまひふ  
 さきかやまじりのひかりあかね  
 おかしひつむらひのひかりあかね

## 雄 齋 國 輝 畫

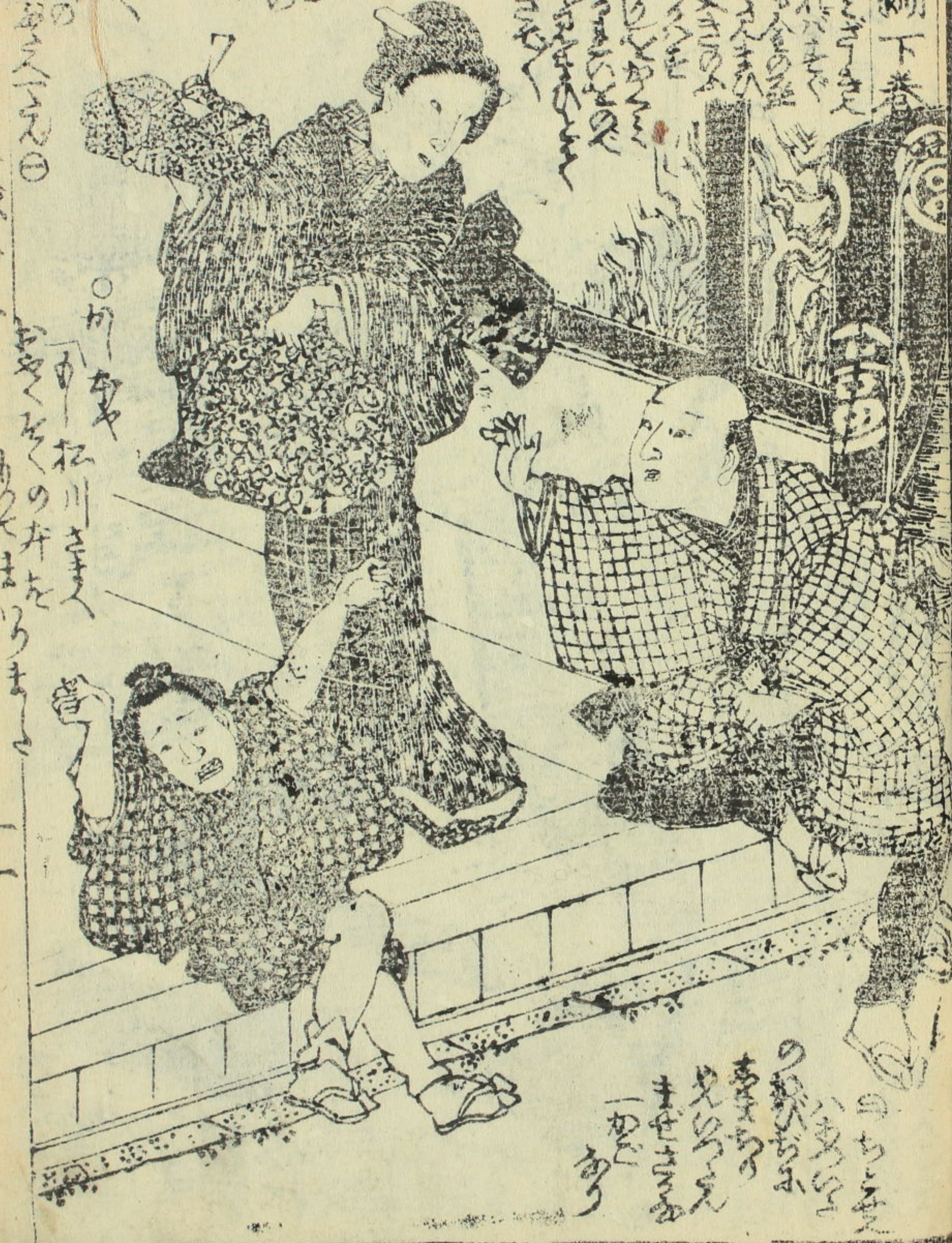


① あつちきつむらひのひかりあかね  
 二人あつちきつむらひのひかりあかね  
 つつあつちきつむらひのひかりあかね  
 まつちきつむらひのひかりあかね  
 あつちきつむらひのひかりあかね  
 こまじりのひかりあかね

④ 入金の座  
 まつちきつむらひのひかりあかね  
 あつちきつむらひのひかりあかね  
 こまじりのひかりあかね

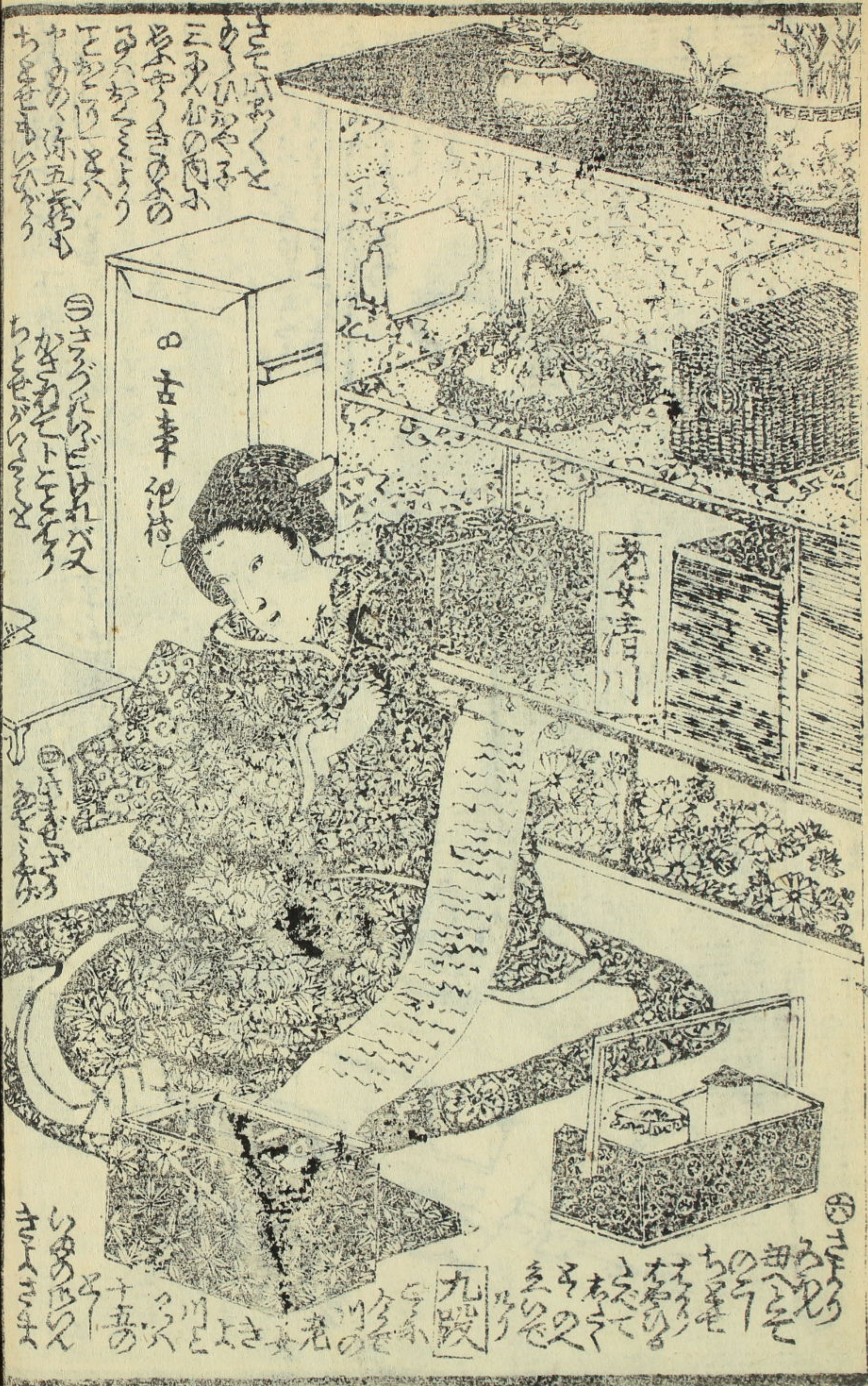
## 美人録十二編下巻

八段 かくてあつちきつむらひのひかりあかね  
 さあつちきつむらひのひかりあかね  
 もまじりのひかりあかね  
 のひかりあかね  
 まつちきつむらひのひかりあかね  
 あつちきつむらひのひかりあかね  
 こまじりのひかりあかね



○ 川 松川さま  
 まつちきつむらひのひかりあかね  
 あつちきつむらひのひかりあかね

あつちきつむらひのひかりあかね  
 まつちきつむらひのひかりあかね  
 こまじりのひかりあかね



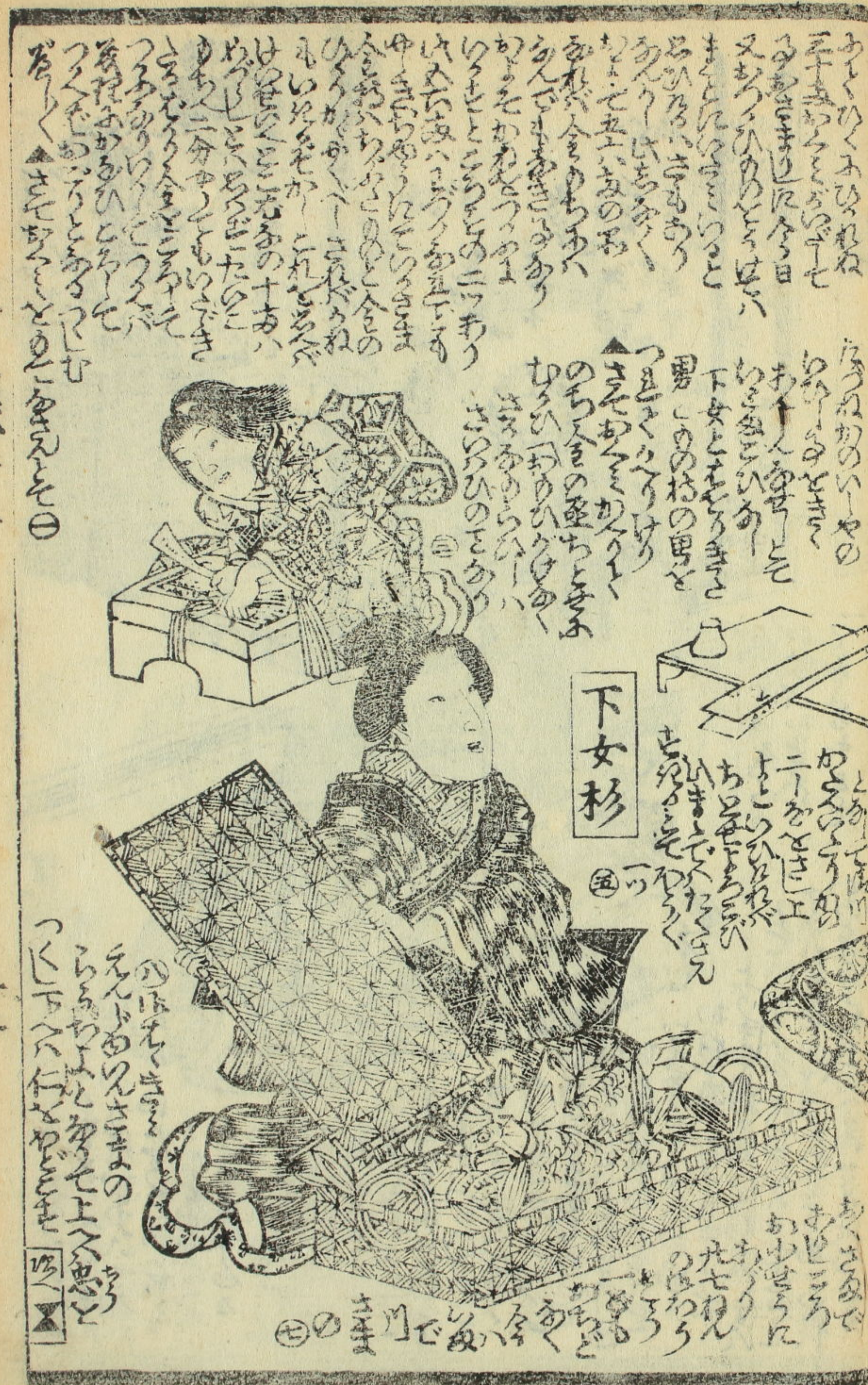
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ  
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ  
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

① 古事 池持  
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ  
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ



あはれひくみひねね  
三十五のうらみ  
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ

あはれひくみひねね  
三十五のうらみ  
あはれひくみひねね  
三十五のうらみ





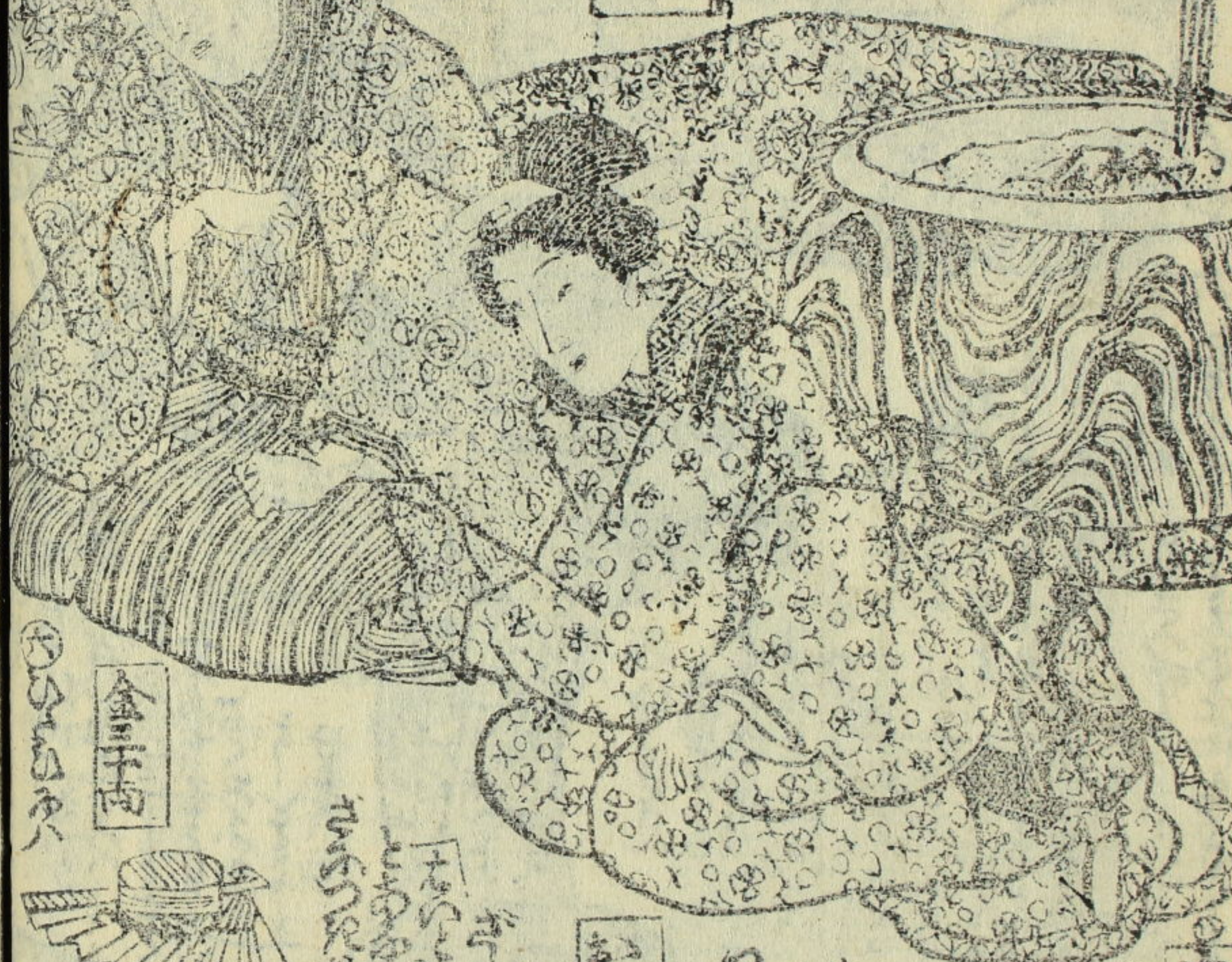




信州の山にさかす花をよみてえん  
しゆめいといふひびきよきも同も  
なまふらけく二百とてしよと  
なまひのふたをせぬがや  
あはれいのかいあけか  
らうとせられぬさうりか  
あはれいのかいあけか

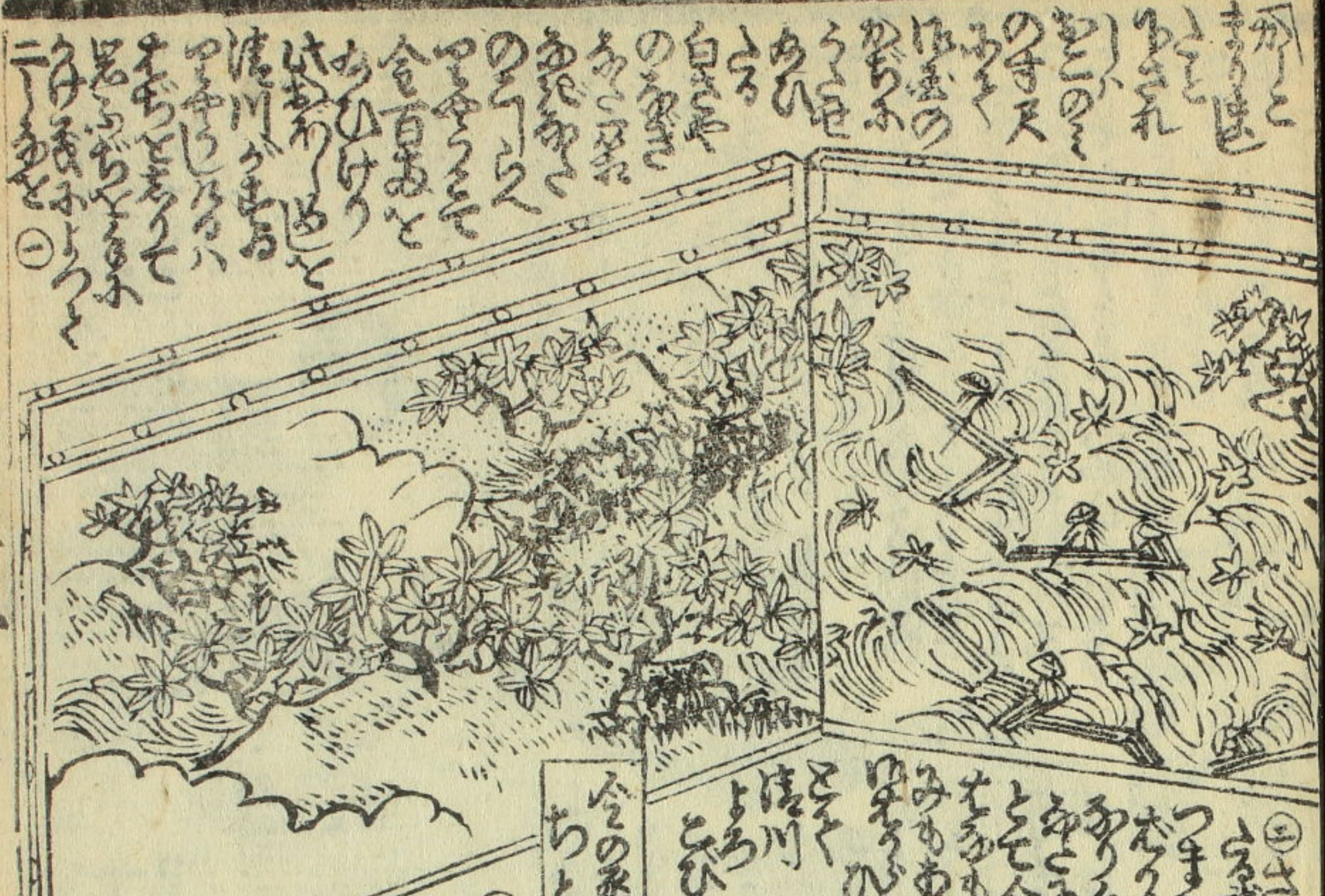
怒次郎

十二段 あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月



金三郎

十三段のす  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月

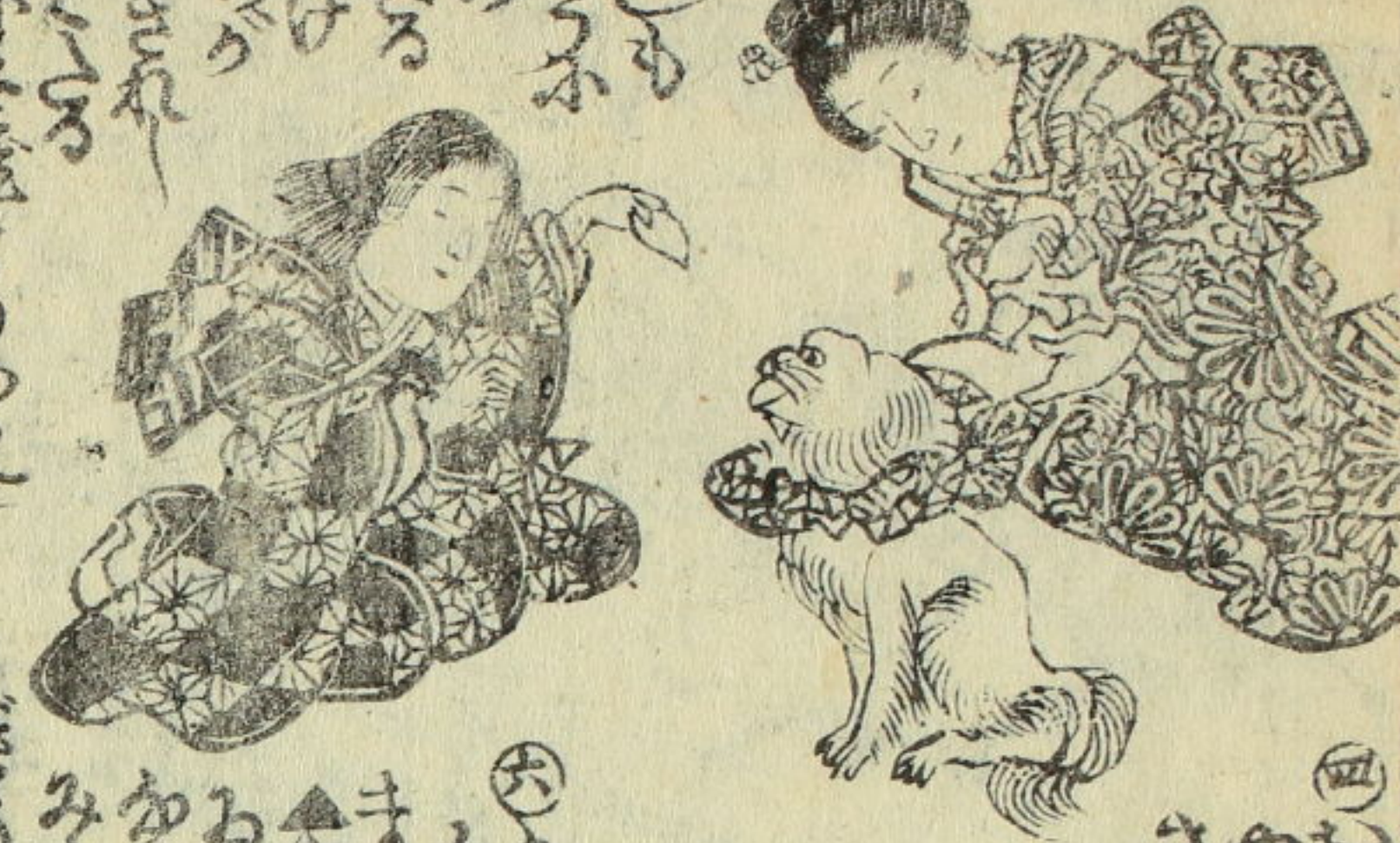


あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月  
あつてねんあつては月

十二段

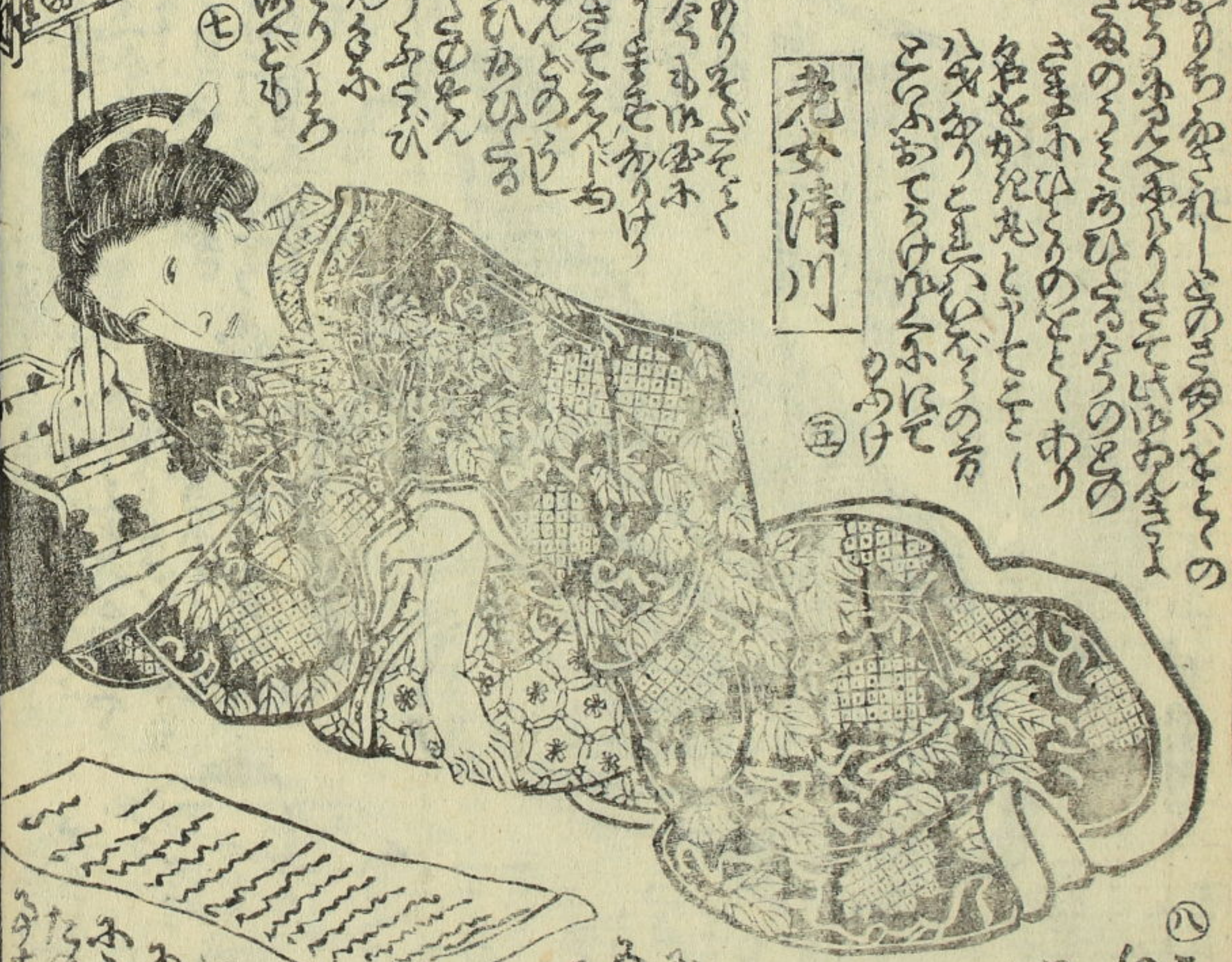
十三段

① かなたにみち  
ゆりあけのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり



④ 老女清川

② かなたにみち  
ゆりあけのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり



⑤ かなたにみち  
ゆりあけのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり

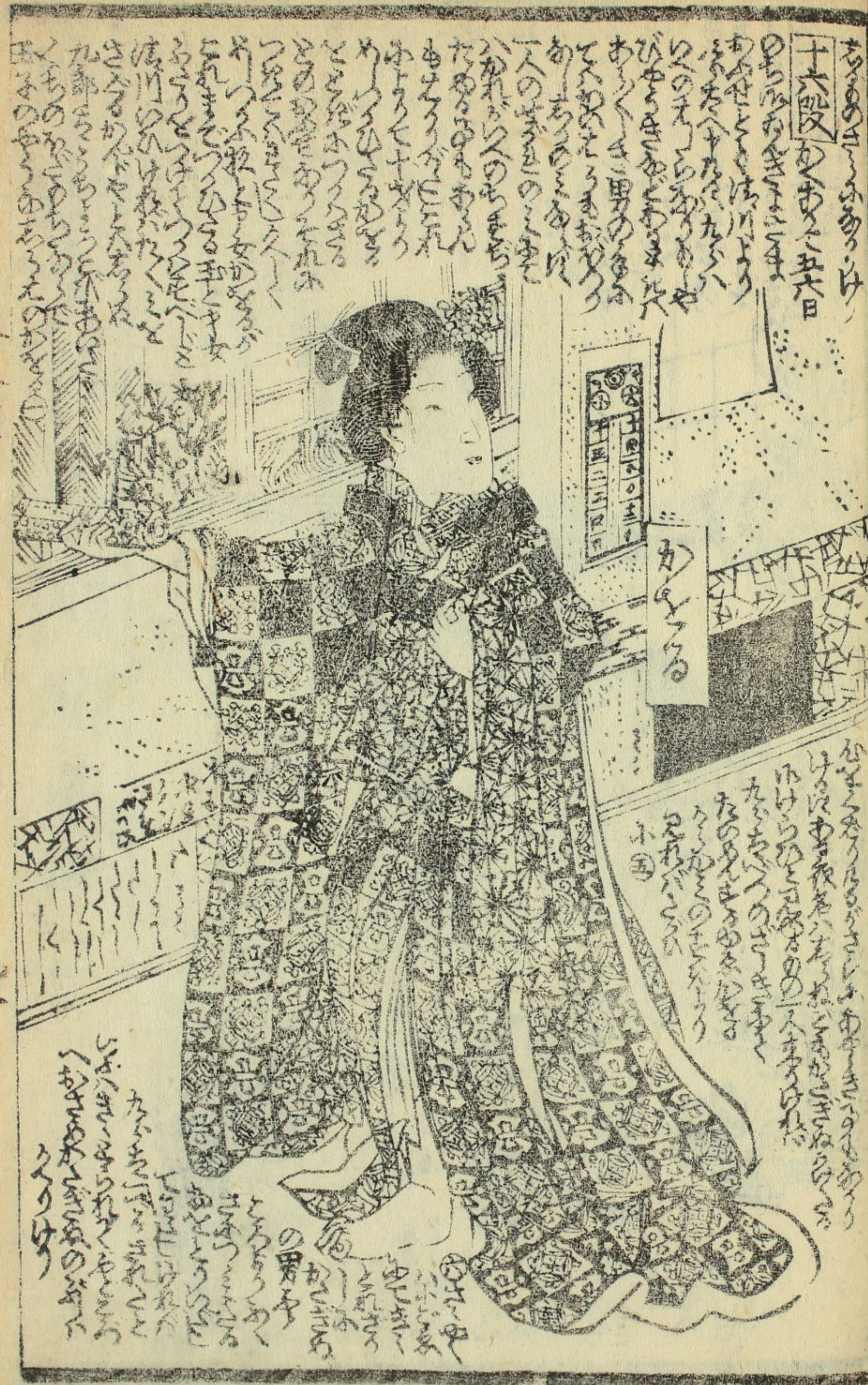
③ かなたにみち  
ゆりあけのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり



⑥ かなたにみち  
ゆりあけのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり  
ゆきまのまはり

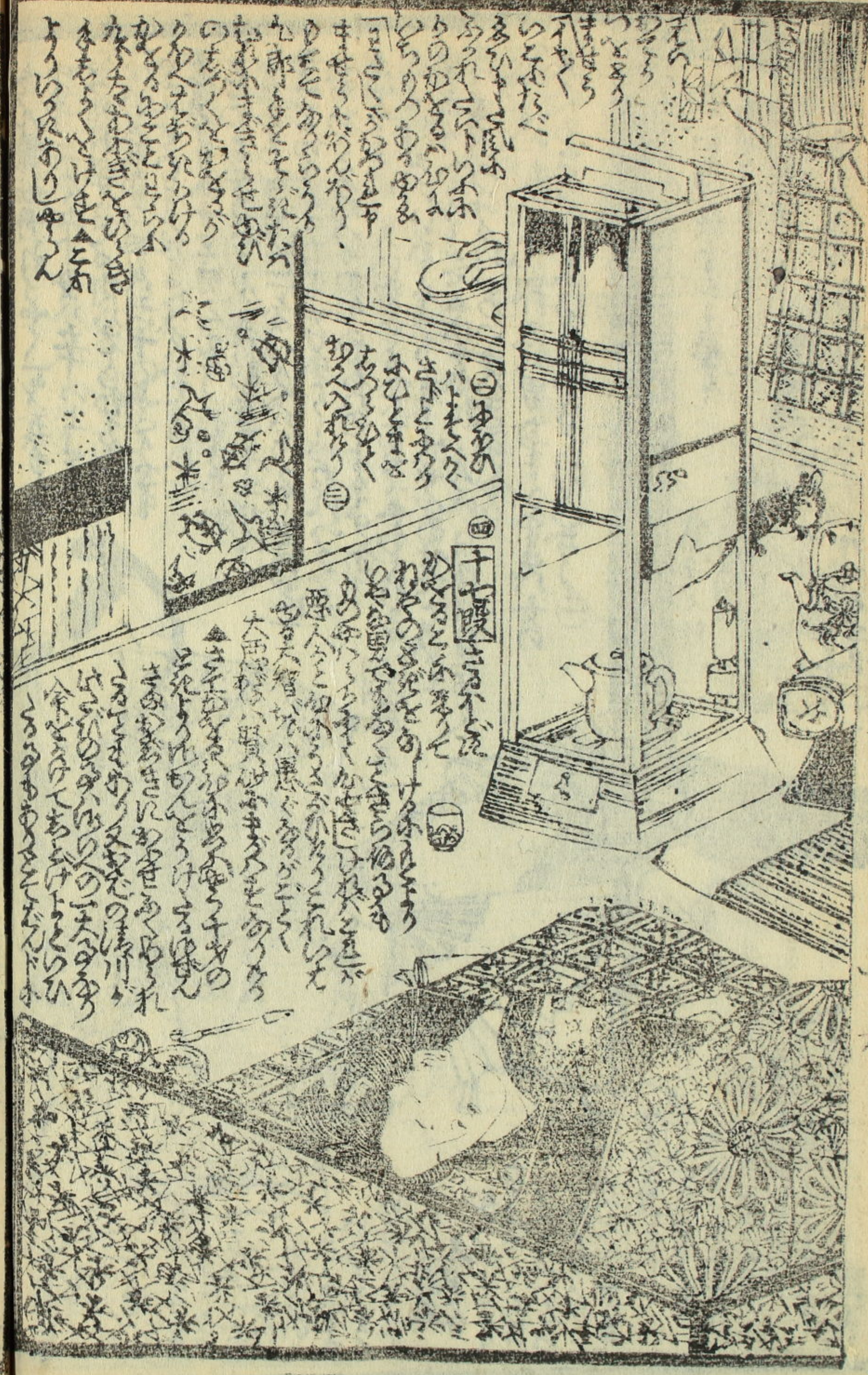






十六段 女あつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日

あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日



あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日

あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日  
あつて五日のあつて五日



